



みさわ



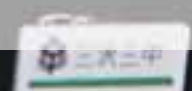
- 特集 東北地方太平洋沖地震
..... 2~9 P
- 特集 平成23年度予算 10~14 P
- 市政の動き 15~19 P
- 議会活動 20~25 P
- マックチャンネルガイド 26~27 P
- 出来事通信 28~29 P
- みさわ情報ねっと 30~35 P
- 健康チェック、忘れていませんか? ... 36 P

見つめる先には 希望の世界

春の訪れを感じるこの季節。卒業生の門出を祝うかのような天候に恵まれた3月9日。市内中学校において卒業証書授与式が挙行されました。

校長先生から一人ひとり大切に手渡された卒業証書は、3年間、学び舎で仲間と共に勉学に励み、そして友情を深めあった思い出の証。

卒業を迎える今、大人への階段を一步踏み出し、新たな世界へと旅立とうとしている生徒たち。真っ直ぐに見つめる眼差しには、どんな未来が映っているのでしょうか。



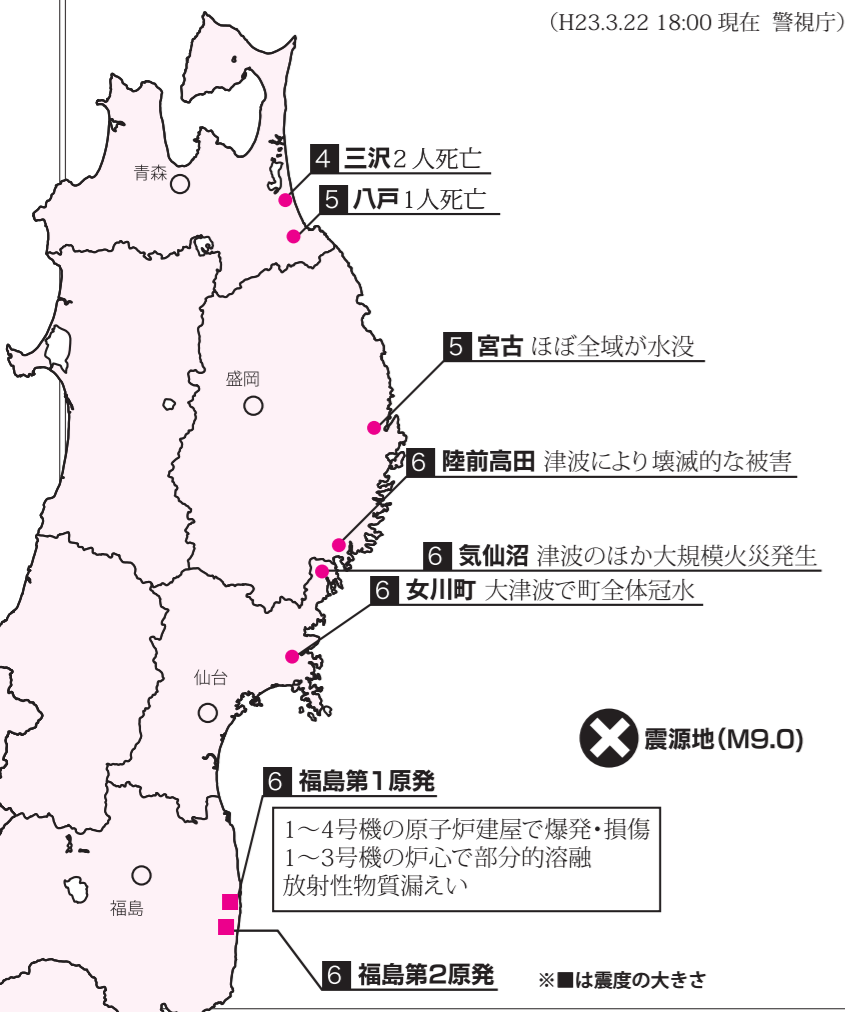
東北地方太平洋沖地震概要

地震 発生時間 平成23年3月11日14時46分頃
 震源地 三陸沖(北緯38.1度、東経142.9度、
 牡鹿半島沖130km付近)

震源の深さ 約24km
 地震規模 マグニチュード9.0

被害	死者	北海道	1名	行方不明者	北海道	0名
		青森県	3名		青森県	1名
		岩手県	2,773名		岩手県	5,018名
		宮城県	5,507名		宮城県	4,266名
		福島県	743名		福島県	4,272名
		茨城県	20名		茨城県	1名
		千葉県	16名		千葉県	3名
		その他	13名		その他	0名
	負傷者	2,675名		避難者	268,510名	
	家屋全壊	14,717棟		家屋半壊	4,974棟	
	家屋流失	1,159棟		一部破損	101,867棟	
	床上浸水	1,937棟		床下浸水	927棟	
	家屋全焼	90棟		家屋半燃	7棟	

(H23.3.22 18:00 現在 警視庁)



災害は突然に

三沢市を襲った大津波



四川目地域の海岸を襲った津波

【特集】東北地方太平洋沖地震

平成23年3月11日、14時46分。三陸沖を震源とする大地震が発生した。地震規模はマグニチュード9.0。地震観測が開始されてからは過去最大の規模である。宮城県では震度7、三沢市でも震度4を記録した。

揺れが始まってから、約3分もの長時間横揺れを続けた今回の地震。建物は「ギシギシ」と不気味な悲鳴をあげきしむ。

三沢市内では、慌てて建物から飛び出し避難する大勢の姿があった。そして地震直後、停電が発生し電気が使用できなくなった。

2日目の9日、11時45分にも三陸沖でマグニチュード7.3、三沢市も震度3を記録した地震が発生し、岩手県と宮城県では2〜3センチメートルの地殻変動を観測されている。

9日、11日と二度にわたり発生した地震は確かに大きかったが、この時、誰がこの後起こる悲惨な出来事を想像できただろうか。

今回の巨大地震により、北海道・東北・関東の太平洋沿岸には大津波警報が発令された。

そして、気象庁の予測通り津波は発生した。しかし予測とは、規模とスピードが違った。想像を遙かに超えていたのだ。

海岸近くに住民たちは、避難勧告を受けながらも避難が間に合わず、多くの人々が黒く荒れ狂う大津波に飲み込まれた。

三沢市でも、数多くの住宅が津波に飲み込まれ、2人の尊い命が失われることになってしまった。

被害の大きかった宮城県では、牡鹿半島に1,000体もの遺体流れついたという報道が流れ、東日本全体では、2万人を超える死者数が予測されると総務省は発表した。

北は青森県から南は福島県までの約1,800キロメートルもの沿岸部を襲った大津波の被害は、あまりにも大き過ぎる。

地震の影響により、原子力発電所の事故も大きな問題となった。

常に危険と隣り合わせとも言える原子力発電施設。これまでもトラブルや事故の話題が絶えない。

今回の地震では、冷却機能が失われたことにより、燃料の一部が溶け発生した水素への引火による爆発が相次いだ。放射能漏れが確認され、電力会社と関連会社の作業員や地域住民が被曝した。半径30キロメートル以内の住民には屋内退避命令が、また半径20キロメートル以内の住民へは立ち入りを規制し、避難指示が出された。

今後の国の原子力計画へ、大きな影響を与えるであろう事故となった。

日本では、過去に経験のない規模の災害となった今回の大地震。東日本の沿岸部全域に、生涯忘れることの出来ない爪痕を残すこととなった。



三沢川を逆流し、国道338号線を越え、さらに勢いを増す津波

その時 三沢市は

14時46分の大地震が発生してから2時間、何度か潮は満ち引きを繰り返していた。四川目の金毘羅神社高台で波の様子をうかがっていた老人を訪ねると、高さが3mほどあるうかという岸壁を既に2回ほど波が乗り越えたという。

第1波より第2波、第2波より第3波の方が大きくなるという津波。三沢市への大津波到着予想時刻は19時30分頃と予測されていた。

しかし福島、宮城、岩手、八戸市を襲った大津波は、16時57分、三沢市の沿岸地域もあつという間に飲み込んだ。高く盛り上がった海面は、浜辺を一気に駆け登り、岸壁をも軽々と越えて来る。川沿いの低い地形の場所には特に被害が大き

く、三川目、四川目、五川目、六川目、そして織笠・塩釜境界付近では、津波が国道338号線を超えるほどだった。

そして、最も被害が大きかったのは三沢漁港。漁業協同組合事務所の建物のほか、荷捌施設や製氷貯氷施設等は、鉄骨やコンクリートの骨組みを残すのみとなり、木造の建物については基礎だけが残っている状態のものも多くあった。

地震発生後、沖への迅速な避難で難を逃れた37隻の船を除く、29隻が津波の被害を受けた。3月17日現在、未だに見つかっていない転覆船も14隻ある。

ほつきまつりを翌々日に控えた漁協関係者にとつて、今回の津波被害は、あまりにも大きな痛手となった。

三沢市被害状況

人的被害 3名
けが人1名 死亡2名
家屋被害 51棟
全壊17棟、半壊1棟、一部損壊6棟、床上浸水15棟、床下浸水12棟

三沢漁港被害状況

建物被害 16棟
全壊10棟、半壊6棟
給油・荷役・照明被害 全壊3式・3基
漁船被害 66隻中、破損・沈没29隻

H23.3.25 現在

津波翌日の朝、昨日の荒れ狂う波が嘘のように思えるほど波が穏やかだった三沢漁港。周辺は建物や漁具の残がいで溢れ、言葉を失う光景が広がっていた。



1 停電により光を失った市街地。車のライトだけが眩しく光る。2 ビードルビーチ管理棟2階の時計。津波の時刻を伝えてくれた。3 川沿いの地域は特に被害が大きかった。4 漁港敷地内は陥没箇所があり、分厚いアスファルトが割れ道路が無残に寸断されている。5 屋根だけが残った建築物。津波の大きさをうかがわせる。6 車も残がいと一緒に埋もれし。7 家の前はがれきの山。何がどこから流されてきたのか知る由もない。8 三川目地区。9 住宅前の倉庫が大きな被害に。住宅も一部破損していた。10 六川目地区。11 流されてきた船が国道338号線を封鎖した。12 五川目地区。13 津波発生直後の11日18時頃、漁業関係者が漁港を訪れ、目の前の惨劇に茫然と立ちつくしていた。14 大型トラック、給油タンク、乗用車が見る影もない。15 三沢漁港



大野サカエさん (77歳)
三川目1丁目在住

津波に流されながらも、奇跡的に助かった大野サカエさん。津波の恐ろしさを語ってくれた。

「何回か波は来ていたけど、もう来ないと思って家の中で家事をしてた。お父さんに『津波が来た』と呼ばれて、慌てて家を飛び出したが、松の木の上くらいまである、見たことのないような津波が来て流されてしまった。何度も体を打ちつけられ、水を飲んで、助かるとは思わなかった。偶然にも波に飛ばされ隣家との垣根を超え助かることができた。死ぬかと思ひ、本当に恐ろしかった。」

海辺に隣接する三沢漁港のほか、一般住宅にも被害は及んでいる。住居の倒壊、半壊、床上・床下浸水合わせて51棟が被害を受けている。また、2名の尊い命が奪われてしまった。

14時46分の地震以後、すぐに津波警報が出され、避難所となっている市内各小中学校などへの避難勧告を発令した三沢市。地震と同時に停電になり、情報伝達方法は防災無線しかない。津波警報が発令されたことを何度もくり返し放送するしかなかった。

三沢市でも、津波発生時に自宅にいて、津波に襲われながらも間一髪命を救われた住民もいた。

この時、もし、かつてない大津波が来ることを知っていたのなら、全ての住民が、もつと早く避難できていただろう。

地震発生直後、東北地方全域で停電が起こる。その時、東北地方の一般家庭では見ることができなかったテレビでは、津波が仙台空港滑走路に押し寄せる映像や、押し寄せた津波で大型漁船が陸地へと打ち上げられ、乗用車と小型船が道路と一緒に流される八戸港の映像が生中継で放送されていた。

一人ひとりの想いが
故郷を救う



1炊き出しを行うため、おおぞら小学校へ約30名が集まってくれた2「自分ができることを」と調理を手伝う中学・高校生3不安を抱えながら限られた食べ物をほおぼる子ども4薄暗い避難所でも明るい笑顔を見せる子どもたち。温かく美味しいみそ汁に、また笑顔が5物資や人的協力を申し出る米空軍ラスティーン司令官6避難所に炊き出し用の米を運ぶ地域の皆さん7市役所に届けられた飲料水8食料品が消えたスーパーの陳列棚9ガソリンを求めてスタンド付近には長蛇列が10作業者たちの昼食となるおにぎりを作る赤十字奉仕団の皆さん11三沢国際車いすテニス大会実行委員の皆さんが昼食を炊き出し12変わり果てた漁港で懸命に作業を行う漁協関係者13協力して撤去作業を行う外国人ボランティア14連日作業を行う市民ボランティアの皆さん15国籍を超えて協力し作業を行う漁協関係者と米海軍兵士(11~15三沢漁港)16自ら進んで国道の片づけをする米ボランティアの方(五川目地区)1718地域の姿を取り戻すため災害ごみを片づける19苦しいときも笑顔をお忘れずに共に作業する町内会と米ボランティアの皆さん(17~19三川目地区)20津波の被害を受けた淋代保育所。子どもたちの大切なおもちゃも泥まみれに21淋代集会所に場所を移っても明るい笑顔で遊ぶ子どもたち



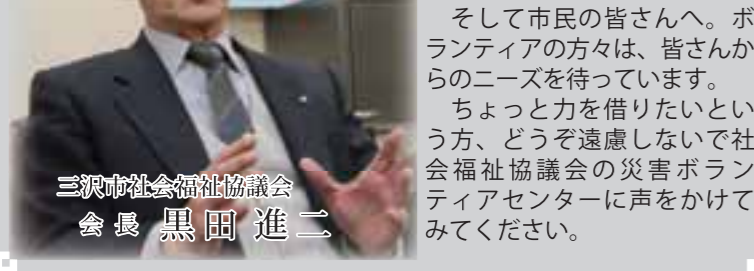
今回の大震災、大津波により被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。

三沢市社会福祉協議会では、震災後3月14日に三沢市災害ボランティアセンターを立ち上げ、ボランティアを希望する方々を受け入れ始めました。

3月24日現在で12歳から75歳までの160名を超える市民の方々がボランティア登録をされ、漁港や床上浸水家屋、淋代保育所等の片付け、泥出し、清掃、炊き出しと、連日協力していただきました。

被災者のために少しでも力になりたいという、ボランティアの皆さんの熱い思い、今まで名前も顔も知らなかった三沢市民が一つになって力を合わせている光景に「ありがとうございます」の言葉では感謝し尽くせない思いです。

そして市民の皆さんへ。ボランティアの方々は、皆さんからのニーズを待っています。ちょっと力を借りたいという方、どうぞ遠慮しないで社会福祉協議会の災害ボランティアセンターに声をかけてみてください。



三沢市社会福祉協議会
会長 黒岡進二

また三川目地区・六川目地区には、地域の方々や日米のボランティア、総勢約400人が集まり、住宅地周辺道路と防風林付近の災害ごみ撤去作業に精を出した。

誰もが予想をしなかった未曾有の大災害。現在、直面しているこのような現状でも、我々、日本人は決して諦めない。乗り越えられない壁などない。日本人の優しさを、忍耐力を、そして頑張れる力強さを信じて、共に前を向いて歩きましょう。

また、元の生活に戻る日まで、頑張ろう東北。そして、頑張ろう我が故郷。

今回の災害で、おおぞら小学校避難所の対応は特に素晴らしかった。停電が発生した後、地域の皆さんが避難所へ発電機を準備した。他の避難所がろうそくや懐中電灯で過ごす中、おおぞら小学校には優しい光が溢れていた。そして配られたパンだけでは可哀想だと、地域の皆さんによる炊き出しが行われ、温かいおにぎりとおみそ汁が避難している方々に振る舞

三沢漁港には、漁業関係者、米軍人、市職員、ボランティア、総勢150名が集結。建設業協会の重機も投入され、大型ダンプに次々と災害ごみが積み込まれ運び出されていく。

その頃、三沢市にはパンや飲料水が市内スーパーから届けられ、すぐに避難所への配布作業が始められた。翌日からは、津軽地方からリンゴや米、おにぎりが、自衛隊からは大量の毛布や水が届けられた。各地からの善意により三沢市の避難所では、なんとか物資不足にならずに済んだ。

津波の被害を受けてから、市内沿岸部の各地域で毎日続いていた災害ごみの撤去作業。災害から10日経った3月20日の日曜日には、これまでにない規模での作業が行われた。

共にご苦労した。その頃、三沢市にはパンや飲料水が市内スーパーから届けられ、すぐに避難所への配布作業が始められた。翌日からは、津軽地方からリンゴや米、おにぎりが、自衛隊からは大量の毛布や水が届けられた。各地からの善意により三沢市の避難所では、なんとか物資不足にならずに済んだ。

津波の被害を受けてから、市内沿岸部の各地域で毎日続いていた災害ごみの撤去作業。災害から10日経った3月20日の日曜日には、これまでにない規模での作業が行われた。

I♥三沢

災害伝言版

ここらと身体健康のために

震災後、日常生活の困難、後片付けや今後の生活の心配のために、心身ともに疲れやすくなります。ここらと身体健康を保つために以下のことにご注意しましょう。

- 1. 休息をとりましょう**
眠れなかったり、やるべきことが多くてここらも身体も疲れてきます。するべきことは多いのですが、休息の時間を必ずとるようにしましょう。
 - 2. 食事や水分は十分とりましょう**
思うようなものが食べられなかったり、普段と違う生活のために食事が不規則になりがちです。特に高齢者は脱水になりやすいので水分の補給を積極的に行いましょう。
 - 3. お酒の飲みすぎにご注意しましょう**
不安だったり、眠れないためにお酒に頼ることは避けましょう。続くとアルコール依存症になる危険があります。
 - 4. 心配や不安を一人で抱えずに、周りの人と話しましょう**
震災のあと、心配が増えたり不安になるのはあたりまえのことです。一人で抱えこまずに家族や友人、近所の人と話しましょう。気持ちが楽になってきます。
 - 5. お互いに声をかけあいましょう**
特に、一人暮らしの人、具合の悪そうな人に声をかけましょう。なかなか自分から相談にはいきません。周りの人が気をつけてあげてください。みんなで助け合いましょう。
- 問合せ：健康推進課 (☎57-0707)
上十三保健所 (☎23-4261)
ここらの電話 (☎017-787-3957)

地震後の公園利用

公園の遊具等、災害後に点検または使用を禁止していますが、破損個所の発見時は、すぐに使用を中止し、市役所都市整備課または三沢市公園緑化公社までご連絡ください。

問合せ：都市整備課 (内線270)
公園緑化公社 (☎51-2820)

漁港・ビーチへの立入禁止

三沢漁港及び三沢ビードルビーチは津波被害のため、施設の倒壊、道路の陥没等大変危険な状態です。災害復旧のための車両等以外は進入禁止としますので、関係者以外は立ち入らないでください。

問合せ：農政水産課 (内線307)

日本赤十字社「東北関東大震災義援金」

日本赤十字社では、3月11日の東北関東大震災により被害を受けた地域の方々に対し義援金の受付をしております。皆様のおたかご協力をお願いします。

《直接振り込まれる方は》
郵便振替 (郵便局)
口座記号番号 00140-8-507
口座加入者名 日本赤十字社 東北関東大震災義援金
取扱期間 3月14日(月)~9月30日(金)
※青森銀行及びみちのく銀行に設置されている義援金専用の振込用紙を使用することもできます。
問合せ：生活安全課 [市役所本館1階] (内線313)
(日本赤十字社青森県支部三沢市地区事務局)

三沢市共同募金委員会「東北地方太平洋沖地震義援金」

皆様から寄せられた義援金は、青森県共同募金委員会を通して県内の被災した方々や福祉施設へ届けられます。今後、4月中旬には、県下一斉に街頭募金も実施されます。皆様のご協力をお願いいたします。
募集期間 9月30日(金)まで
問合せ：三沢市共同募金委員会 [総合社会福祉センター 社会福祉協議会内] (☎53-3422)

三沢市の防災情報

三沢市では、市公式ホームページ及び携帯電話へのメール「情報メール in 三沢」で防災情報を提供しています。緊急・気象・火災・防犯・交通安全・消費生活・メールマガジンなど、幅広い情報を提供していますのでご利用ください。

なお、防災メールの配信については登録手続きが必要となりますので、右下のQRコードを読み取るか、下記アドレスまで送信し登録をお願いします。
市ホームページ「防災情報」アドレス
<http://bousai-misawa.jp/bousai/>
市ホームページ「東北地方太平洋沖地震関連」アドレス
<http://bousai-misawa.jp/bousai/emergency/index.htm>
「情報メール in 三沢」登録アドレス
anzenjoho@bousai-misawa.jp
問合せ：総務課 (内線252)



市税・介護保険料の減免

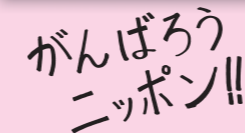
地震、津波の影響により、被害を受けた方は市税(固定資産税、市民税、国民健康保険税)・介護保険料が減免になる場合があります。被害の程度により決まりますので、詳しくはご相談ください。

減免の対象となる目安	
○家屋が全壊により原形をとどめていない場合	「被災証明書(被災の事実を証明します)」を発行します。
○家屋が床上浸水して使用不可能になった場合	
○床上浸水した家屋を使用する予定だが、大規模な修理が必要な場合	「被災届出証明書(被災の届出をしたことを証明します)」を発行します。
○津波が田、畑に浸水して、耕作ができなくなった場合	
○償却資産として申告されている機械や船などが使用不可能になった場合または修理が必要な場合	
減免の対象とならないケース	
▽床下浸水(玄関や風除室などの浸水)	
▽家屋の損害が軽い(例：外壁の一部が剥がれたが日常の使用には支障がない場合など)	

※上記の表はあくまで目安です。上記表にあてはまらない場合もございますので、心当たりのある方はご連絡ください。
問合せ：税務課資産税係 [市役所本館1階] (内線166)
介護福祉課介護福祉係 [総合社会福祉センター] (内線382)

地震津波による「災害ごみ収集」

3月11日に発生した地震津波により被害を受けた浜通り地区の方々で、まだ家屋などの災害ごみがある場合は、町内会指定の場所へ集積していただければ、三沢市が収集します。
問合せ：土木課 (内線287)



被災者の被保険者証紛失

災害に伴い、被保険者証を紛失したことにより保健医療機関に提示できない場合、国民健康保険・後期高齢者医療制度に加入の方は「氏名」「生年月日」「住所」を、社会保険・共済保険に加入の方は更に「事業所名」を申し立てることにより受診が可能です。
問合せ：国保年金課 国保係 (内線298)
高齢者医療係 (内線223)

罹災(届出)証明書の発行

県税などの減免手続きや保険金の請求手続きなどに罹災(届出)証明書が必要な場合は、税務課資産税係(7番窓口)にお越しください。(代理人可)

○市で被災状況を確認している場合	「罹災証明書(被災の事実を証明します)」を発行します。
○災害状況がわかるもの(写真など)をお持ちになった場合	
○上記以外の場合	「罹災届出証明書(被災の届出をしたことを証明します)」を発行します。

※いずれの証明書も三沢市の証明書として、支障なくお使いになれます。詳しくは罹災(届出)証明書の提出先である保険会社等にご確認ください。
問合せ：税務課資産税係 [市役所本館1階] (内線166)

地震、津波被災者への住宅支援相談

3月11日発生した東北地方太平洋沖地震により、住宅が全壊、半壊等の被害を受け、居住する住宅のない方を対象に、市営住宅等への一時入居について相談を受け付けます。
入居期間 最大2年間入居可能
家賃等 全額免除
※敷金、保証人についても免除。ただし光熱水費及び共益費は個人負担となります。
問合せ：建築住宅課 [市役所本館3階] (内線260)

弔慰金・見舞金の支給

今回の災害で亡くなられた方、また家屋が全壊、半壊、床上浸水に遭われた方々には、「災害救助法」及び「災害弔慰金の支給等に関する法律」並びに「被災者生活再建支援法」が適用され、弔慰金や見舞金が支給されます。
また、当市においても「三沢市災害救護条例」を制定しておりますので、支給要件に該当すれば、見舞金が支給されます。その他、条件に応じ各種貸付制度の概要を受けることもできます。
手続きは、緊急を要するものでなければ、生活環境が安定してからでかまいませんのでお問い合わせください。
問合せ：生活安全課 [市役所本館1階] (内線313)

【特集】東北地方太平洋沖地震 完

今回の「東北地方太平洋沖地震」により、東北地方沿岸部を中心に各地で多くの犠牲者や家屋の倒壊など、壊滅的な被害を受けられました。心からお見舞いを申し上げます。当市におきましても甚大な被害を受けており、誠に辛い出来事であり、2名の方が犠牲となられました。亡くなられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、ご家族、ご親族の皆様には慎んでお悔やみ申し上げます。

そして、沿岸部では、津波による家屋の全壊など数多くの被害が発生しており、被害に遭われました方々に対しても、心からお見舞いを申し上げます。

地震発生後の応急対応、災害復旧活動におきまして、青森県、米軍三沢基地、航空自衛隊、三沢警察署、消防団や日赤奉仕団などのご協力と多くの企業や団体、さらには市内商店の方々や個人からもご支援や、救援活動にご尽力をいただきました。特に被害が甚大であった三沢漁港では、米軍三沢基地から多くの隊員やその家族の方々が支援に駆けつけていただきました。皆様の善意に対しまして、心から敬意と感謝を申し上げます。

また、十和田市、弘前市並びに弘前市議会からの善意に対しまして心から感謝申し上げます。

市といたしましても、被害に遭われた方々の一日も早い復旧対策に最大限の努力を傾注して参りますので、市民の皆様におかれましては、生活が落ち着きを取り戻してきていただくにはあります。気持ちを強く持ち、共に今回のこの難局を乗り越えましょう。

最後に私からお願いであります。甚大な被害を受けられた方々へ、温かいメッセージを送られるなど、今の私たちにできることを考えていただき、互いにこの困難な局面を乗り越えられるよう、皆様の善意を他の被災地へも届けていただきますようお願い申し上げます。

三沢市長 種市一正



三沢市長 種市一正

会計別当初予算額

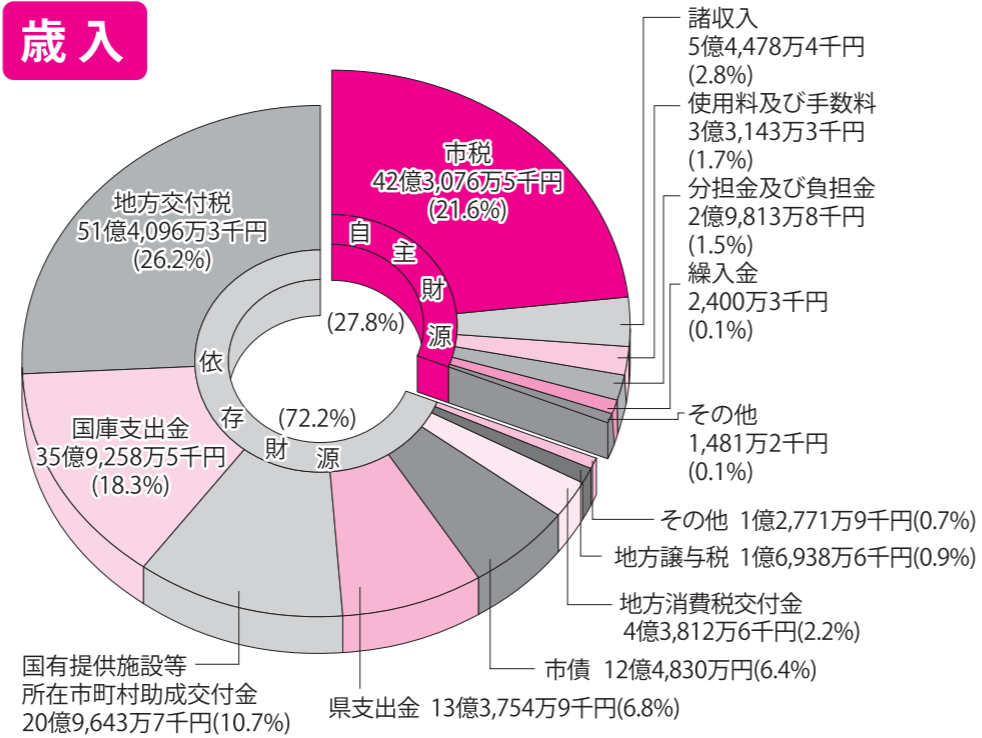
会計名称	平成22年度	平成23年度	増減率
一般会計	183億2,300万円	195億9,500万円	▲6.9
特別会計	108億5,886万9千円	102億5,942万1千円	▲5.5
国民健康保険	42億8,509万円	40億9,261万2千円	▲4.5
食肉処理センター	5億3,617万5千円	5億3,916万4千円	0.6
土地区画整理事業	3億1,701万7千円	2億5,586万6千円	▲35.1
老人保健	355万7千円	—	—
農業集落排水事業	7億2,686万7千円	4億9,482万1千円	▲31.9
下水道事業	17億8,253万8千円	15億1,763万7千円	▲14.9
介護保険	28億7,908万1千円	30億7,356万4千円	6.8
後期高齢者医療	3億2,874万4千円	3億3,603万7千円	2.2
企業会計	85億2,184万5千円	78億1,540万4千円	▲8.3
水道事業	18億6,356万5千円	16億4,229万9千円	▲11.9
病院事業	66億5,828万円	61億7,310万5千円	▲7.3
合計	377億3,714万4千円	376億6,982万5千円	▲0.1

一般会計

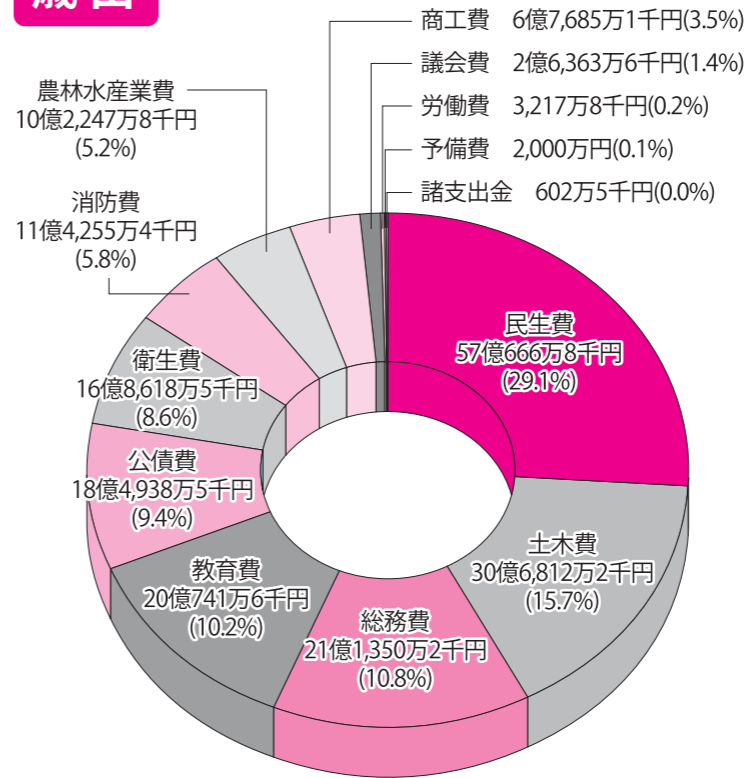
195億 9,500万円

の内訳

歳入



歳出



■自主財源 市税や使用料、手数料など市が自主的に収入できる財源です。
 ■依存財源 地方交付税や国・県支出金など国や県の意思により額が決められ交付される財源です。

用語の説明

歳入

■諸収入 延滞金や貸付金の元利収入など、他のどの科目にも含まれない収入をまとめた科目
 ■繰入金 一般会計、特別会計、基金の間で相互に運用されるお金
 ■使用料及び手数料 市の施設の使用料や住民票などを交付したときの手数料など
 ■分担金及び負担金 市が行う事業で特定の利益を得る人などから負担してもらったお金
 ■地方交付税 地方自治体ごとの財政運営の均衡をとるため国から交付されるお金
 ■国庫支出金・県支出金 特定の目的の財源として国・県から交付されるお金
 ■国有提供施設等所在市町村助成交付金 米軍及び自衛隊が使用する固定資産について、国が市に対し財政調整とその補償のため交付するお金
 ■市債 市が事業を進めるため、国や銀行から借りたお金
 ■地方譲与税 一度国税として徴収され、その後市町村に分配されるお金
 ■地方消費税交付金 市民の皆さんが納めた消費税の一部を財源として県から交付されるお金

歳出

■民生費 福祉や年金、医療、保育所など、他のどの科目にも使われるお金
 ■土木費 道路や公園の維持補修や整備のために使われるお金
 ■公債費 市の借入金(市債)の元金や利子の償還に使われるお金
 ■総務費 一般的な管理事務や財政、財産管理、徴税、選挙などに使われるお金
 ■教育費 小中学校の運営や教育、文化、スポーツの振興などに使われるお金
 ■衛生費 各種検診や予防接種などの保健関係、ごみやし尿の処理などに使われるお金
 ■消防費 消防、防災、災害対策などに使われるお金
 ■農林水産業費 農林水産業の振興や農道などの整備に使われるお金
 ■商工費 商工業や観光振興に使われるお金
 ■議会費 市議会の運営に使われるお金
 ■労働費 雇用の安定のために使われるお金
 ■予備費 急を要する予算外の支出に対応するためのお金

一般会計予算を市民一人あたりにすると
46万1,841円

※平成23年2月28日現在の人口
42,428人で計算しました。

<p>民生費</p> <p>134,502円</p>	<p>土木費</p> <p>72,314円</p>	<p>公債費</p> <p>43,589円</p>	<p>総務費</p> <p>49,814円</p>
<p>教育費</p> <p>47,313円</p>	<p>衛生費</p> <p>39,742円</p>	<p>消防費</p> <p>26,929円</p>	<p>商工費</p> <p>15,953円</p>
<p>農林水産業費</p> <p>24,099円</p>	<p>議会費</p> <p>6,214円</p>	<p>労働費</p> <p>758円</p>	<p>予備費その他</p> <p>614円</p>

特集 平成23年度予算

去る3月7日開会の平成23年三沢市議会第1回定例会において、平成23年度三沢市一般会計予算をはじめとする10の新年度予算が審議・可決されました。これらを照らし合わせた予算総額は376億6,982万5千円。今回の特集は、私たちの暮らしに活かされる平成23年度当初予算を紹介します。

新年度予算編成にあたり

市長提案理由説明から

国は深刻な財政状況の下、持続可能な社会保障の整備が遅れ、少子高齢、生産年齢人口の減少は否応なく進み、将来への不安感が高まっていることから、「人」への投資の重視、地域主権等の様々な改革を進めるとともに、今後は「経済成長」「財政健全化」「社会保障改革」を一体的に実現し、元気な日本を復活させるための礎を築く必要があるとして、「成長と雇用拡大」の実現に重点をおいた予算編成を行い、一般会計予算案は前年度当初予算に比べ0.12パーセント増の92兆4千116億円となりました。

一方、当市の財政状況は、歳入について、市税等の自主財源や地方交付税を含む依存財源において大幅な増加を見込むことができず、先々の見通しが極めて不透明となっておりことから、依然として厳しい財政環境におかれています。

当市の平成23年度の当初予算編成については、目的及び成果志向による行政経営システムに基づき、事業評価や施策評価の結果を的確に反映し、行財政改革との一体的な取り組みにより、将来世代への持続可能な財政構造を確立するための予算編成を基本方針とし、三沢市総合振興計画の基本理念である「人とまちみんなで作る国際文化都市」建設のため、①健康で助け合うまちづくり②環境と共生し安心できるまちづくり③豊かな心と体を育むまちづくり④働き暮らせるまちづくり⑤生活に便利なまちづくり⑥健全で開かれたまちづくりの6つの都市像の実現を目指しました。

その結果、平成23年度三沢市一般会計当初予算は、歳入歳出とも195億9千500万円となり、前年度当初予算と比較し12億7千200万円、6.9パーセントの増となりました。

「人とまちみんな」で創る国際文化都市」 建設のため6つの都市像の実現を目指します

働き暮らせるまちづくり

12億6,061万2千円

雇用・新産業創出・農業・水産業・商業・観光



市民生活の充実を図るため、新たな産業創出への支援や既存企業の競争力強化、企業誘致活動の推進により雇用の確保に努めます。また、効率的な農業生産や安定した漁業生産の確保に努め、農業及び水産業の振興を図ります。さらに、商業活性化に取り組むと共に、様々な観光資源のPRや有効活用を進め、観光振興に努めます。

- 農産物加工施設(学校給食センター)設置事業 3億549万2,000円
当市の特産物の消費拡大や地産地消、食育推進の観点から、学校給食センターの機能を持った農産物加工施設(平成24年度完成予定)の建設を進めます。
- 中小企業対策資金 2億2,600万円
中小企業の資金繰りの円滑化を図るため、簡易小口保証特別融資等、5つの融資制度を実施します。
- 人參洗淨選別施設設置助成事業 1億3,948万8,000円
JAおいらせが谷地頭地区へ整備する人參洗淨選別施設建設について助成します。
- 産業活性化住宅新築リフォーム補助金 2,030万円
住宅新築・改修について、市内業者への発注を促進することで、建築関連産業の雇用維持を図ります。
- 地産販売推進補助金 359万円
地産地消フェア運営やご当地グルメ屋台村出店など、各種イベントや農産物販路拡大推進事業に対し助成します。

健康で助け合うまちづくり

49億773万円

健康・医療・福祉・社会保障



病気の予防対策を推進し、市民の健康づくりを応援します。また、安心して医療サービスを受けられる体制の充実を図り、健康で暮らせるまちづくりを進めます。高齢者がいきいきと社会参加でき、障がい者などを地域社会で支え、さらに、安心して子どもを産み育てることができるよう取り組みます。

- 児童措置費 12億8,742万6,000円
保育所の運営や延長保育の促進、民間経営施設への支援を行い、安心して子育てが出来るような事業を行います。
- 子ども手当費 8億5,340万1,000円
0歳児から中学校卒業までの児童・生徒を対象に、月額1万3,000円及び2万円を支給します。
- 生活保護扶助費 7億333万3,000円
生活保護受給者に対し、生活費・医療費・住宅費・教育費・介護費などを支給します。
- 長寿祝金 5,281万円
70歳以上の高齢者に対して、祝金(5,000・10,000円)を支給します。
- 乳幼児医療費給付事業 5,083万6,000円
0歳児から小学校就学前までの幼児に対する医療費を給付します。
- 地産地消でわんぱく家族米支給費 911万6,000円
18歳以下の子どもが3人以上いる家族に対して、米(45・60kg)を支給します。

生活に便利なまちづくり

20億3,502万8千円

交通網・都市整備・高度情報化・市街地活性化



地域住民が多様な交通手段を利用しやすい環境を整え、高速交通拠点として三沢空港や三沢駅の利便性の確保と利用促進に取り組みます。加えて、快適で安全な歩道・車道・公共交通・上下水道の整備など、都市基盤の整備を図るとともに、インターネットなどを活用した情報交換を推進し、効率的な公共サービスの提供を目指します。

- 市道整備事業 8億7,201万8,000円
新しい都市整備基盤に向けた交通網の整備のために次の道路整備を行います。
○市道東岡三沢・松原線整備事業(パーラー文化～松原町2丁目)
○市道三沢・下田線外1整備事業(日の出3丁目～浜三沢県道バイパス交差点)
○市道岡三沢・平畑線外1整備事業(岡三沢1丁目～平畑1丁目・よこまちストア前交差点)
- 三沢飛行場周辺整備統合事業 3億3,017万4,000円
新三沢市立三沢病院周辺の道路・公園を整備します。
- 全庁型地理情報システム導入事業 3,600万5,000円
航空写真を活用した庁内各種図面等のデータ整備を行います。
- 地域公共交通対策費 2,926万4,000円
バス路線の再編及びコミュニティバスの運行に対し助成します。
- フレンドシップマーケット運営PR強化業務委託料 672万円
街の駅みさわにおける日米交流事業等の推進を図ります。

環境と共生し安心できるまちづくり

11億1,772万4千円

自然環境・生活環境・基地対策・生活安全・防災



地球温暖化などの環境問題の解消を目指し、国際的にも貴重な本市の自然を保全するとともに、各種の公害から快適な生活環境を守ります。とりわけ三沢基地に起因する騒音などの諸障害については、その軽減に努めます。また、防犯や交通事故防止の取り組みを進めるとともに、大地震や暴風雨等の災害に備えます。

- 塵芥処理費 3億4,951万5,000円
ごみ焼却施設、粗大ごみ処理施設の運営管理やごみ収集業務、最終処分場保守管理及び残さ等の運搬業務を行います。
- 防犯灯維持費 2,640万円
生活の安全を確保するため、防犯灯の設置及び維持を行います。
- テレビ共同受信施設管理費 1,319万9,000円
ケーブルテレビ利用に係る修繕、電気料等の維持管理を行います。
- 災害対策費 677万7,000円
防災メールの配信により、災害情報等の提供を迅速に行い、市民の生命・財産を守ります。
- 自然保護費 360万6,000円
ラムサール条約登録地の仏沼の保全と利活用を図り、自然保護思想の啓発及び普及を図ります。
- 交通整理員設置費補助金 209万1,000円
交通整理員を配置し、学童を交通事故から守ります。

健全で開かれたまちづくり

1億1,687万8千円

地域協働・行政改革



まちづくりに携わるNPO、ボランティア団体などの市民活動組織を支援し、行政との適切な役割分担による地域協働のまちづくりを進めます。加えて、情報を広く提供し、市民が市政について評価・検討する住民自治の促進を図ります。また、広域的な課題に対処した効率的な行政運営を推進するため、国、県及び近隣市町村との連携強化を図ります。

- 市民・行政の連携事業 2,275万5,000円
市民と行政が協働し役割を分担してまちづくりを行えるよう、各町内会への行政協力や市民の自発的な社会活動を支援します。
○行政協力者謝礼(市内各町内会へ広報等配布作業に係る謝礼)
○市民参加型まちづくり評価事業(政策評価及びまちづくりワークショップの開催等により、市民参加型の新しい政策評価手法を構築します。)
○協働のまちづくり市民提案事業費補助金(協働によるまちづくりのため市民から提案された事業に対し補助します。)
○(仮称)市民活動サポートセンター運営経費(市民活動団体や市民が交流する拠点施設を整備し、様々な市民活動を支援します。)
○女性政策推進事業費(男女共同参画社会に向けた女性意識啓発と人材育成、ネットワークづくりに関する事業を推進します。)
○NPO支援費(NPOの活動及び設立等の支援を行うことで、市民の自発的な社会活動の推進を図ります。)

豊かな心と体を育むまちづくり

17億7,736万円

国際化・教育・文化・スポーツ



これまでの国際交流を継続することにより、市民の国際性を養い、多様な文化への理解が深まるよう努めます。小中学校教育では、個人の能力を最大限に発揮できる環境を整え、英語教育等を通じて、多様なコミュニケーションができる人材の育成に取り組みます。さらに、市民の文化活動やスポーツ活動の振興に努めます。

- 第三中学校新築事業 2億4,154万2,000円
平成25年度完成予定の第三中学校新校舎の地質調査・実施設計・校舎工事などを行います。
- 国際交流及び国際化事業 6,046万9,000円
教育課程特例校認定に基づく市内小学校での英語教育の推進、ミス・ビートル号の再現飛行などの姉妹都市交流事業、アメリカンデー・ジャパンドーの事業費補助等を行います。
- 幼稚園就園奨励費補助金 3,431万5,000円
保護者の経済的負担を軽減するために幼稚園の入園及び保育料を補助します。
- スクールバス運行事業・遠距離通学援助費 1,644万2,000円
おおぞら小学校へのスクールバス運行や三沢小学校・第二中学校・第三中学校へ通学する児童・生徒への援助により、登下校の安全確保を図ります。
- スポーツ推進費 1,148万3,000円
各種大会出場選手の派遣費や体育協会に対し補助を行います。



故 附田一氏 峠威氏 山崎国雄氏

2月25日、公会堂において平成22年度三沢市体育功勞者等の表彰授与式が行われ、三沢市のスポーツ振興や各種大会で優秀な成績を収めた方々に対し、表彰状が贈られました。なお、受賞者は次のとおりです。(敬称略)

三沢市体育功勞者
三沢市体育協会功勞者
スポーツ優秀賞
スポーツ奨励賞(中学生の部)

三沢市体育協会功勞者
スポーツ奨励賞(小学生の部)

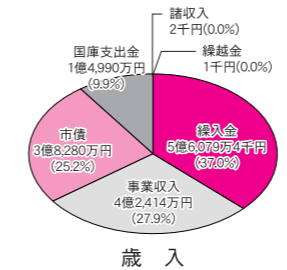
広告

体育功勞者 体育協会功勞者 スポーツ奨励賞

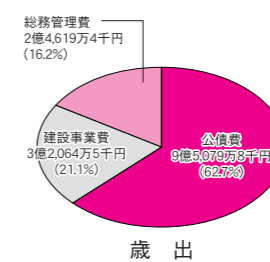
表彰授与式

下水道事業

15億1,763万7千円

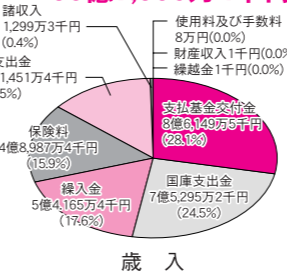


市街地を中心とした区域の汚水処理を行う公共下水道の整備運営事業

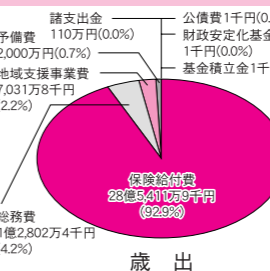


介護保険事業

30億7,356万4千円

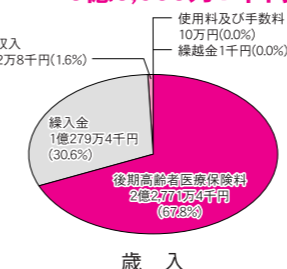


要介護者を社会全体で支え総合的な介護保険サービスの給付を行う事業

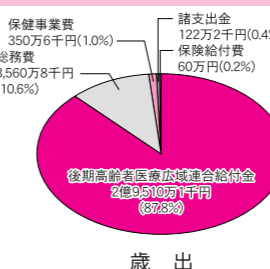


後期高齢者医療

3億3,603万7千円



75歳以上の方など、後期高齢者に対する医療給付事業

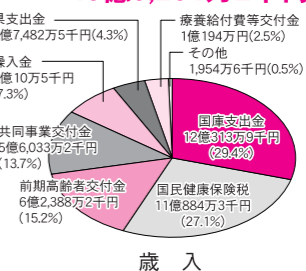


特別会計

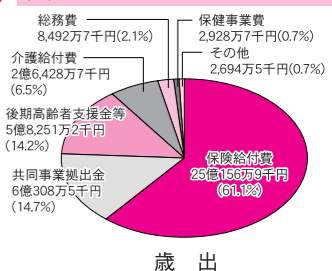
特定の事業を行う場合または特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般の歳入と区分して経理をする必要がある会計です。

国民健康保険

40億9,261万2千円

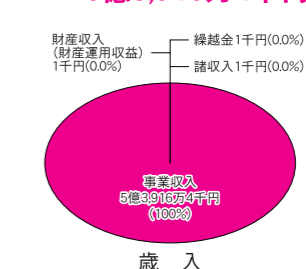


疾病、負傷、出産及び死亡に関して必要な保険給付、及び健康保持・増進の保健事業

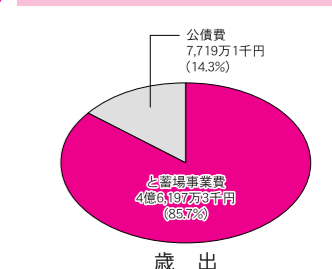


食肉処理センター

5億3,916万4千円

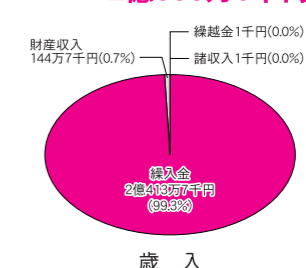


食肉用家畜の処理を行う三沢市食肉処理センターの運営事業

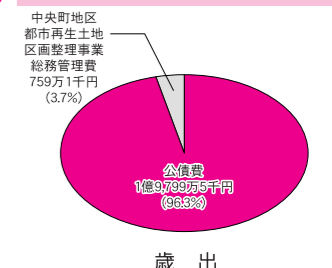


土地区画整理事業

2億558万6千円

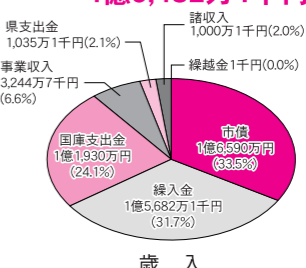


土地区画整理事業の公債費償還

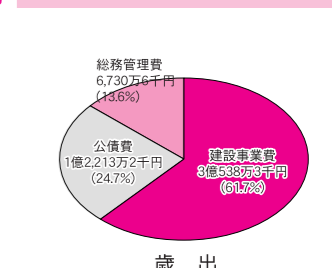


農業集落排水

4億9,482万1千円



根井~八幡・淋代~塩釜・三川目~鹿中地区の汚水処理事業



企業会計

使用料などその事業における収入で、その事業の経費をまかなうことを目的として設置される独立採算性を原則とする会計です。

水道事業 16億4,229万9千円(支出計)

Table showing income and expenditure for Water Utility.

病院事業 61億7,310万5千円(支出計)

Table showing income and expenditure for Hospital Work.

ミス・ビードル号80周年記念事業 アイデア募集!

実行委員会事務局〔国際交流課内〕 ☎51-1255

ミス・ビードル号による世界初太平洋無着陸横断飛行80周年にあたる本年、ミス・ビードル・フライト実行委員会では、記念の年にふさわしい事業を市民の皆様から募集します。

募集内容 太平洋無着陸横断飛行80周年、ウェナッチ市姉妹都市締結30周年、東ウェナッチ市姉妹都市締結10周年を記念した事業名とその内容

募集締切 5月20日(金)
提案方法 メール(misawa44@net.pref.aomori.jp) またはFAX (51-1211)

市役所の組織を一部改正しました

総務課 (内線207)

平成23年度の組織体制については、三沢市総合振興計画の着実な推進を図ると共に、新たな行政需要や社会経済情勢の変化に柔軟に対応する組織体制の確立を目指し次のとおり改正しました。

旧 (H23.3.31)			新 (H23.4.1~)		
部	課	係	部	課	係
政策	財政部		政策	財政部	調整係
					事業係

ミス・ビードル号に関連する記念事業の実施に向けたプロジェクトチームを政策財政部に設置しました。

経済部	産業政策課	商工労政係 産業立地推進係	企業誘致推進室へ	→	経済部	産業政策課	商工労政係 中心市街地活性化推進室	推進係
		中心市街地活性化推進係	中心市街地活性化推進室へ				企業誘致推進室	企業誘致係

中心市街地の更なる活性化を図るべく産業政策課内に中心市街地活性化推進室を設置しました。航空機産業や太陽光発電関係の企業誘致の推進を図るべく、経済部内に企業誘致推進室を設置しました。

建設部	都市整備課	計画係 管理係		→	建設部	都市整備課	計画係 管理係
	建築住宅課	区画整理係	廃止			建築住宅課	建築係 営繕係 管理係

中央町地区土地区画整理事業の終了により、都市整備課区画整理係を廃止しました。建築住宅課に営繕係を設置しました。

三沢病院	医事課	外来係 入院係	医療情報システム課へ	→	三沢病院	医療情報システム課	システム係
事務局	病院建設課	計画係 建設係	廃止				医事係

電子カルテやオーダーリング診療支援システムの導入により、三沢病院事務局内に医療情報システム課を設置し、医事課の所管事務を移管しました。新病院建設事業終了により、病院建設課を廃止しました。

広告

日米の連携で事故被害を最小限に



日米の連携を確認しながらの訓練

2月23日、三沢漁港において、日米ガイドライン実動訓練が行われました。これは、米軍航空機の基地外で発生した事故を想定し、日米関係機関の初動対

応を確認するための訓練で、米軍、青森県警、市消防本部、三沢市など、関係機関から約120名が参加し、米軍機事故対応ガイドラインに基づき実施したものです。訓練では、米軍所属のUH60ヘリがエンジンに異常をきたして緊急着陸、搭乗員の脱出後に爆発炎上したという想定により、事故機に見立てた車両の周囲で日

米の消防隊が連携して救助・消火活動を行いました。また、現場への立ち入り規制や交通整理なども県警と米憲兵隊が協力して行いました。訓練終了後、米軍三沢基地のクリストファー・ホースマン消防長は、「米軍と日本の消防隊員の活動に感謝を受けた。万が一事故が起った場合も協力して被害を最小限にとどめたい」と述べました。

ファミリースポーツ 広場計画変更へ

2月24日、三沢飛行場周辺まちづくり構想計画変更検討委員会の竹林委員長と小比類巻副委員長が、吉田教育長のもとを訪れ、提言書を手渡す竹林委員長(右)

書を手渡しました。この提言書は、防衛省補助事業として平成15年度から基本計画策定や測量などを行い、現在休止中のゴルフ場やマウンテンバイクコースを含む(仮称)三沢市民ファミリースポーツ広場整備事業について、学識経験者や各種団体代表者からなる検討委員会で、今後の事業のあり方を話し合った結果の意見を集約したもので、竹林委員長から内容の説明がありました。説明では、現在の社会情勢の変化を照らし合わせ、計画は変更すべきとし、「屋内スポーツ・レクリエーション施設」の整備を提言。各種スポーツの公式試合や三沢市の国際性を活かすイベントが開催可能で、また災害時の避難場所としても活用できる防災機能を備えた施設としています。提言書を受け取った吉田教育長は、「現在のニーズに合わせて検討していただいている。十分に検討させていただきます」と述べました。

広告

広告

受益者負担金・分担金を申告してください

右記の地区が平成23年度の受益者負担金・分担金の賦課区域となっています。対象となる土地を所有している方には申告書が送付されますので、4月28日(木)までに提出してください。

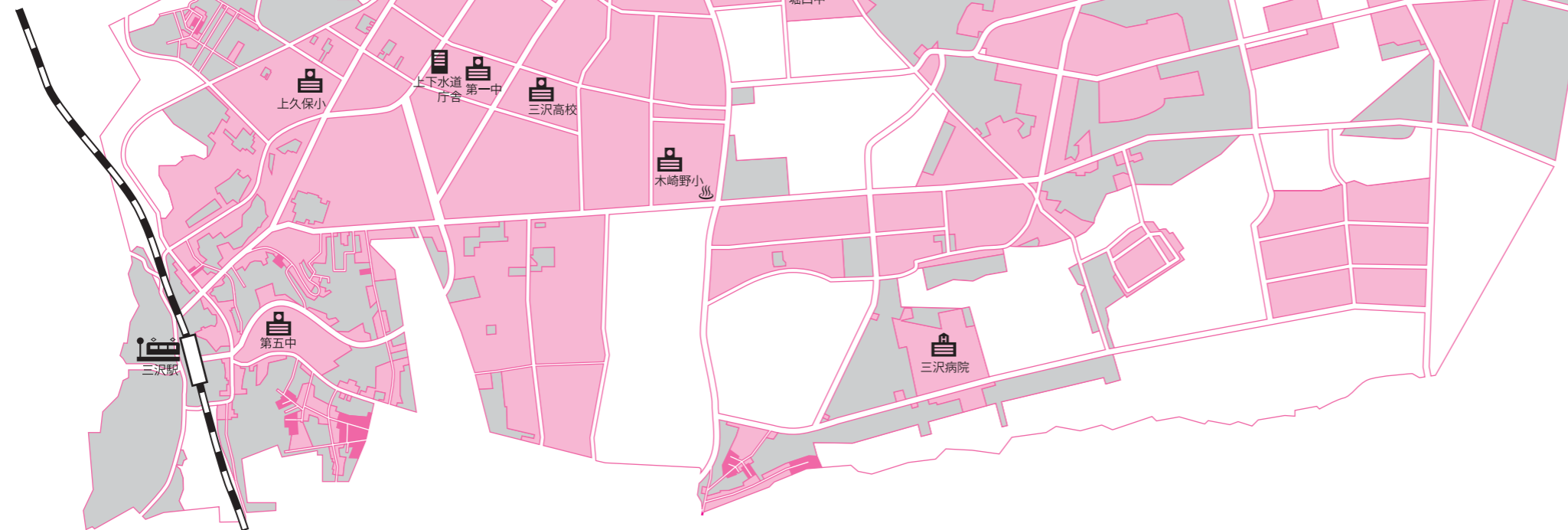
- ・栄町一・三丁目の一部
- ・花園町二～五丁目の一部
- ・中央町四丁目の一部
- ・平畑一・二丁目の一部
- ・日の出三・四丁目の一部
- ・字古間木山の一部
- ・字下久保の一部

★提出・問合せ先 下水道課業務係(内線378)

Q 受益者負担金・分担金って何？

A 下水道が整備されることによって利益を受ける方々に**建設費の一部を負担**していただいています。

下水道の施設は、道路や公園のように多くの方が利用できるものとは異なり、処理区域という限られた地域の方しか利用できません。このため、下水道建設費のうち、市負担分をすべて税金で賄うことは利用できない方にまで負担をかけ、公費負担の公平を欠くことになるからです。



下水道を使って衛生的・快適な暮らしを

★問合せ 下水道課排水設備係(内線335)

Q 下水道が使えるようになると生活は変わるの？

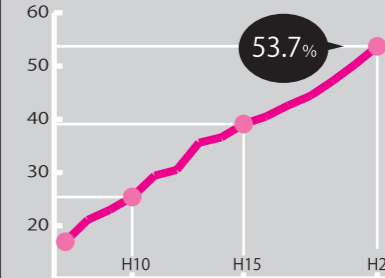
A 下水道が使えるようになると水洗トイレに改造できるようになり、**清潔で衛生的な生活環境**になります。

- ・悪臭がなくなります。
- ・清潔で掃除が簡単になります。
- ・くみ取りのわずらわしさが無くなります。
- ・浄化槽が不要になり、宅地が有効に利用できます。

三沢市の下水道の状況

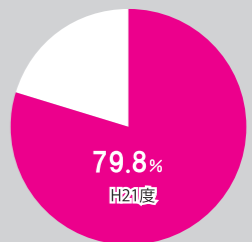
普及率(人口)

全人口のうち、下水道が使えるようになった人の割合



水洗化率(人口)

下水道が使える人のうち、実際に下水道を使っている人の割合



Q 誰が下水道が使えるの？

A 現在、市内で下水道が使える区域は左図の

- 平成23年度までに使用できるようになった区域
 - 平成23年4月1日から使用できる区域
- にお住まいの方です。
※ ■ の区域は平成26年度までに施行予定です。

Q いつまでに下水道に接続すればいいの？

A 台所や洗濯等の排水、浄化槽式トイレは、供用開始から**1年以内**に下水道に接続してください。
くみ取り式トイレは**3年以内**に**水洗トイレに改造**して下水道に接続してください。

Q 自宅の前の道路が私道なのですが、下水道は使えますか？

A **条件付きで私道にも公共下水道が敷設**できます。私道は市道と異なり個人の所有物であるため、その管理及び権利義務は所有者個人にあり、市は土地所有者に無断で公共下水道を敷設することはできません。しかし、**一定の条件を満たした私道に限り**、市が下水道を敷設置することが可能です。詳しくはお問い合わせください。

★問合せ 下水道課計画工務係(内線377)

Q 工事はしたいけどお金が…

A **融資あっせん制度**をご利用ください。工事費の負担を少しでも軽くするため、利子を市が全額負担する制度です。お気軽にご利用ください。

Q 下水道に接続するにはどうすればいいの？

A **排水設備工事**が必要です。原則として建物所有者が、台所やトイレから流れる排水を下水道に流すための「排水設備」を設置する工事を行います。専門的な資格を持つ「**排水設備指定工事店**」にご依頼ください。

議会

だより



平成23年第1回定例会 新年度当初予算を可決

平成23年三沢市議会第1回定例会が、3月7日から17日までの11日間の会期で開催されました。

本定例会には、平成23年度一般会計予算をはじめとする各会計の新年度予算が10議案、平成22年度各会計補正予算及び条例等が20議案、議員提出議案が2議案の全32議案が上程され、慎重審議の結果、いずれも可決・同意されました。

また、3月10日、11日の2日間に行われた一般質問には9名の議員が登壇し、市政全般に関わる疑問等について質問しました。

なお、今回の主な議案とその概要は次のとおりです。

▼平成23年度三沢市一般会計予算
（10ページの特集【平成23年度予算】をご覧ください。）

▼平成22年度三沢市一般会計補正予算（第5号）
国庫補助金の決定通知等に基

づく安全・安心な学校づくり交付金による小中学校の耐震補強事業のほか、きめ細やかな交付金事業、住民生活に光をそそぐ他の事業費の調整並びに緊要な一般行政経費の補正。この結果、補正総額は、歳入歳出ともに4億4千410万円の増額補正で、既定額との累計では、195億600万円となった。

▼三沢市の議会の議員及び長の選挙における選挙公報の発行に関する条例の制定について
三沢市議会議員及び三沢市長の選挙における選挙公報の発行に必要事項を定めるもの。

これにより、三沢市選挙管理委員会では、選挙候補者の氏名経歴、政見等及び写真を掲載した選挙公報を、選挙ごとに1回発行する。

▼三沢市特別職の職員の給料等に関する条例及び三沢市教育委員会教育長の給与、勤務時

間等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
市長及び副市長並びに教育長の給与月額を引き続き引下げ、行政財政改革の推進を図るもの。（市長10%減、副市長5%減、教育長3%減）

▼三沢市住民生活に光をそそぐ基金条例の制定について
保健及び福祉分野における自殺予防等の弱者対策及び自立支援等に対する必要な事業の取り組みの強化を図ることを目的とした三沢市住民生活に光をそそぐ基金を設置するもの。

▼特別災害による被害者に対する市税減免の特別措置に関する条例の一部を改正する条例の制定について
特別災害により漁業に係る損失を受けた方について、農作物に係る損失を受けた者と同様に市税の減免を行うもの。

▼人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
平成23年6月30日をもって別部辰哉氏の人権擁護委員としての任期が満了することから、引き続き同氏を推薦するもの。

▼特別災害による被害者に対する市税減免の特別措置に関する条例の一部を改正する条例の制定について
特別災害により漁業に係る損失を受けた方について、農作物に係る損失を受けた者と同様に市税の減免を行うもの。

▼人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
平成23年6月30日をもって別部辰哉氏の人権擁護委員としての任期が満了することから、引き続き同氏を推薦するもの。

▼本定例会で審議された全議案

議案番号	件名	議決結果
議案第1号	平成23年度三沢市一般会計予算	原案可決
議案第2号	平成23年度三沢市国民健康保険特別会計予算	
議案第3号	平成23年度三沢市食肉処理センター特別会計予算	
議案第4号	平成23年度三沢市土地画整理事業特別会計予算	
議案第5号	平成23年度三沢市農業集落排水事業特別会計予算	
議案第6号	平成23年度三沢市下水道事業特別会計予算	
議案第7号	平成23年度三沢市介護保険特別会計予算	
議案第8号	平成23年度三沢市後期高齢者医療特別会計予算	
議案第9号	平成23年度三沢市水道事業会計予算	
議案第10号	平成23年度三沢市立三沢病院事業会計予算	
議案第11号	平成22年度三沢市一般会計補正予算（第5号）	
議案第12号	平成22年度三沢市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	
議案第13号	平成22年度三沢市土地画整理事業特別会計補正予算（第2号）	
議案第14号	平成22年度三沢市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	
議案第15号	平成22年度三沢市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	
議案第16号	平成22年度三沢市介護保険特別会計補正予算（第4号）	
議案第17号	平成22年度三沢市水道事業会計補正予算（第2号）	
議案第18号	平成22年度三沢市立三沢病院事業会計補正予算（第2号）	
議案第19号	三沢市の議会の議員及び長の選挙における選挙公報の発行に関する条例の制定について	
議案第20号	三沢市特別職の職員の給料等に関する条例及び三沢市教育委員会教育長の給与、勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第21号	三沢市住民生活に光をそそぐ基金条例の制定について	
議案第22号	特別災害による被害者に対する市税減免の特別措置に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第23号	三沢市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第24号	三沢市ふれあい館条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第25号	三沢市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第26号	財産の取得について	
議案第27号	青森県新産業都市建設事業団に委託すべき事業に関する計画の一部変更について	
議案第28号	市道の路線の廃止について	
議案第29号	市道の路線の認定について	
議案第30号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
議員提出議案第1号	環太平洋経済連携協定（TPP）交渉参加に関する意見書（案）の提出について	原案可決
議員提出議案第2号	東北地方太平洋沖地震からの復興に関する決議（案）の提出について	



野坂篤司議員

Q 6月5日の三沢市長選挙に立候補予定の種市市長は、市民に対し、市政運営の理念・ビジョンを示す必要があると考えるか？

A 市長就任後、「市民アンケート」の内容をもとに、市民が何を必要とし、重要と捉えているか、また、市政への不満や満足度を分析し、課題を見極めたうえで構想を組み上げ、基本理念となる「人とまち みんなで創る 国際文化都市」を掲げたところである。この理念のもと、事業の実現・展開を図るべく6つの基本方針を打ち立て、各施策に検討を加えたものを三沢市総合振興計画に盛り込んでいることから、私の目指す政策、いわゆる公約が全て集約されている当計画を推進することが、今後の目指すべき市政運営でもあり、私の2期目の選挙公約に匹敵するものと捉えている。

※上記ほか「今後のMGプラザに対する市の関わり方について」の質問がありました。



天間勝則議員

Q 異国情緒のあるMGプラザにしていけるための施策はあるか？

A MGプラザを運営するMGインターナショナル㈱では、当初、国際色に配慮した計画であったものの、財政基盤の安定に重点を置かざるを得ず、テナントの早期入居を優先したものと聞いている。
今般、民間有志の出資や市の財政支援等により、円滑に業務を遂行できる新たな体制が整ったことから、今後は、会社の具体的な運営方針を決める取締役会等で、MGプラザが国際色豊かな雰囲気となるよう、市としても積極的に発言し、中心市街地活性化基本計画の理念の実現を図りたい。

※上記ほか「地場産品を活かしたまちおこしについて」の質問がありました。



瀬崎雅弘議員

Q 国に対し、移転跡地への整備を要望している(仮称)水辺公園とは、具体的にどのようなものか？

A 移転跡地の有効利用については、市民の憩いの場として(仮称)水辺公園の整備を国に要望しており、現時点では、具体的に提示できる状況にないが、雨水等への対応として調整池の整備、体験型農業施設、トレッキングコースなどが考えられるところである。このように防災、教育、レクリエーション等、多様な役割と機能をもった市民が安らげる場としての整備を望むところである。
また、現在、米国人とも交流が図れる体験型農業施設を検討しており、今後も早期に整備できるよう引き続き、国と協議をしたい。

※上記ほか「文部科学省が実施した全国体力・運動能力調査(調査結果を受けた今後の対応等)について」の質問がありました。

3月10日、11日の本会議では、9名の議員が、市政に対する一般質問を行いました。

主な質問項目とそれに対する市側の答弁の概要は、次のとおりです。

また、3月7日の本会議初日に行われた総括質疑の内容も併せて掲載いたします。



太田博之議員

Q 基地と市民の関わりや基地のあるべき姿を市民全体で議論すべき時期に来ていると思うか？

A これまで基地所在により、市民が過重な負担を強いられていることから「これ以上の基地強化は望まない」という姿勢で臨んできており、今後も、この姿勢を基本に各種民生安定対策に努めていく考えである。
一方、市民が国防や基地行政に大きな関心を持ち、基地の機能や運用の状況、さらには交付金等も含めた広範な議論を通じ、自らまちづくりを考え、提案・実践していくことは「市民とともに歩む、市民本位のまちづくり」の推進に繋がるとともに、基地との共存共栄への理解がさらに深まることが期待されることから、市民がかつ違な議論を重ねていけるような環境づくりを考えていきたい。

※上記ほか「あるべき選挙管理委員会(選挙事務改革等)について」の質問がありました。



奥本菜保巳議員

Q 平成23年度新築・リフォーム助成事業の実施要件を緩和する考えは？

A 平成22年度の実績を踏まえ、三沢建築組合や建設事業者から事業の改善点等を伺ったところ、大変ありがたい事業であるので継続して欲しいという要望とともに、リフォームの場合、100万円以上の工事が補助の条件となっているところを緩和してほしいという要望があった。
このことを踏まえ、平成23年度は、予算を拡大するとともに、リフォームの場合の工事要件を50万円以上の工事に引き下げるよう実施要領を改正したところである。

※上記ほか「基地問題(静粛時間帯の訓練状況等)について」「若者住宅補助制度の導入について」等の質問がありました。



春日洋子議員

Q 子宮頸がん予防ワクチン接種の安全性や有効性等、正しい情報の啓発が必要と考えるか？

A この予防接種は、予防接種法に基づかない任意接種であるが、対象者には、予防接種費用の全額助成のお知らせや相談窓口の案内のほか、予防ワクチンの有効性、副反応及び注意事項等を記載した説明書と3回接種分の予防票をセットにして個別に通知することとしている。また、20歳になったら定期的に子宮頸がん検診を受診することや、ワクチン接種で100%予防できるものではないことも併せて周知する予定である。さらに、市内の中学校及び高校にチラシの配布、ポスターの掲示等を行うほか、中学生を対象とした「思春期ふれ愛セミナー」でも説明を行うなど、機会を捉え予防ワクチン接種に関する情報を広く周知していきたい。

※上記ほか「がん検診の受診率向上対策について」「買い物弱者への支援について」等の質問がありました。



西村盛男議員

Q 市では「三沢市協働のまちづくり市民会議」からの提言を受け、今後どのように協働のまちづくりを推進するか？

A 提言された内容をしっかりと受け止め、さらに庁内での検討を加えて「三沢市協働のまちづくり推進指針」を策定したいと考えている。
さらに、協働のまちづくりについて、広く市民に理解してもらうため、策定された指針の概要版を作成し、町内会、NPO法人、市民活動団体、市役所の各課等へ配布したいと考えている。
また、NPO法人や市民活動団体が横断的に意見交換や交流ができる組織づくりのほか、併せてその拠点となる施設の設置に向けて検討したい。

※上記ほか「三沢市協働のまちづくり市民会議からの提言に対する市の見解について」の質問がありました。

総括質疑 山本弥一議員



Q 新年度予算の編成にあたり、行政評価の結果がどのように反映されているか？

A 行政評価は、三沢市総合振興計画の着実な推進を図るため、効率的で効果的な成果志向型の行政経営を実施するうえで、そのチェック機能として重要な役割を果たしている。
今年度は、平成21年度の事務事業及び施策を対象に評価を行い、さらに市民の視点から検証するために学識経験者と公募市民を含む15名の行政改革推進委員により、外部評価を実施。これらの結果をもとに行政経営会議において、施策や事務事業の方針を決定したところ、小川原湖広域観光協議会の負担金等4件は廃止、各種語学講座等2件は縮小、介護認定を円滑に実施するための事業費等11件は拡大することとし、平成23年度一般会計当初予算に反映させたところである。

用語解説

「一般質問」とは？

上程された議案とは別に、議員が、地方公共団体の行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め又は疑問を質すことをいいます。

「総括質疑」とは？

上程された議案を一括して議題とし、総括的に質疑することをいいます。
なお、議案の個別審議については「予算審査特別委員会」「条例等審査特別委員会」等をそれぞれ設置し、これに付託のうえ、慎重に審議されます。



鈴木重正議員

Q 東北新幹線全線開業に伴う当市への影響は？

A 三沢駅がJRから青い森鉄道へ移管されたことにより、新幹線との乗継ダイヤやJR切符の販売体制の問題等、利便性やサービス低下によるマイナスの影響が大きく表れていることから、青い森鉄道株式会社の取締役会で改善を強く要請し、3月12日からのダイヤ改正で一部改善されることとなっている。また、プラスの影響としては、全県をあげての観光PRの取り組みにより、全国に三沢市の観光情報が従来以上に発信されていることなどが挙げられる。
市では、引き続き、さらなる改善のため機会あるごとに要請するとともに、プラス面を最大限享受できるよう取り組みたい。

※上記ほか「公共施設の整備計画(新設・改築・改修等)について」「予算編成過程の公表に係る検討状況について」の質問がありました。



藤田光彦議員

Q 「情報メールin三沢」の利用状況は？

A 市では、災害や犯罪に強い安全な地域づくりを目指す観点から、新たな防災情報伝達手段として、平成21年10月から防災メールの配信を開始したところであるが、本年2月末現在での登録者数は1,629件となっている。
今後さらなる加入促進を図るため、広報みさわやマックテレビ等での周知のほか、市役所1階ロビーや各携帯電話会社の店頭に設置している、携帯電話をかざすだけで簡単に登録ができる装置を活用することで、多くの市民に役立てて頂けるよう努めたい。

※上記ほか「小中学校の教科書及び授業時間の増大に伴う対応について」「民生委員の現状について」の質問がありました。

所管事務調査報告

総務文教常任委員会

委員長 堀 光雄

去る1月18日に委員会を開催し、青い森鉄道三沢駅の利便性確保と、三沢市コミュニティバス実証運行の状況について調査しました。

はじめに青い森鉄道について、昨年12月の東北新幹線全線開業に伴い、青い森鉄道に移管された三沢駅の利便性が著しく低下していることから調査を行いました。

市の説明では、新幹線との接続ダイヤや運賃の値上げ、JR券の販売時間等に対し、多くの苦情が寄せられており、これらは市長から青い森鉄道側の取締役会で問題解決を要請しているとのことでした。

委員からは、引き続き改善を求める意見のほか、もう少し静観すべきとの慎重な意見も出されました。



↑さらなる改善が求められる三沢市コミュニティバス(愛称「みえバス」)

環太平洋経済連携協定(TPP)交渉参加に関する意見書の提出について

3月17日の本会議において、環太平洋経済連携協定(TPP)への参加を行わないよう求める意見書案が提案され、審議した結果、次のとおり内閣総理大臣に対し提出することが可決されました。

環太平洋経済連携協定(TPP)交渉参加に関する意見書

昨年11月、政府は「包括的経済連携に関する基本方針」を閣議決定し、この中で環太平洋経済連携協定(TPP)について、関係国との協議を開始することとしている。

TPPは、関税撤廃の例外措置を一切認めない完全な貿易自由化を目指した交渉であり、これにアメリカ、オーストラリアなどの食料輸出国が参加することになれば、農林水産省の試算によると、農業生産額が4兆1千億円減少するなど、我が国農業は、壊滅的打撃を受けることになる。さらに、包括的交渉が行われることにより、農業のみならず、情報、金融、雇用等へも多大な影響を及ぼすことも懸念される。

他方TPPが輸出面での優位性や国際協調及び国際競争力の向上に多大な効果があることは認識するも、特に農業を基幹産業とする当市にとっては、農業関係者はもとより、地域経済、生活全般に深刻な打撃を受けることは明らかである。よって、国におかれては、環太平洋経済連携協定交渉への参加は行わないよう要望する。以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

特別委員会中間報告

基地対策特別委員会

委員長 小比類巻 正規

去る3月2日、委員会を開催し、航空機産業に係る企業誘致について、三沢基地周辺対策要望の進捗よく状況について、調査しました。

はじめに航空機産業に係る企業誘致について、市では現在、県と合同で航空機産業誘致プロジェクトチームを編成し、航空機産業誘致基本構想の作成にあたっていているとのことでした。

本委員会では、この基本構想ができ次第、内容の説明を受け、今後の活動を検討することとしました。

次に、三沢基地周辺対策要望の進捗よく状況については、昨年、重点要望として取り上げた①三沢飛行場第2滑走路の早期着工と航空機産業等の企業集積について②防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律の運用改善について③(仮称)



←昨年10月21日、防衛省での要望の様子

三沢市国際交流スポーツセンターの建設について④地域振興に対する支援について⑤国有提供施設等所在市町村助成交付金及び施設等所在市町村調整交付金の改善についての5点についての進捗よく及び対策の説明を受けましたが、具体的な成果は得られておらず、今後は、この結果を踏まえ、要望事項の早期実現のため、活動方法の検討や要望内容を精査したいと考えています。

議員提出議案

東北地方太平洋沖地震からの復興に関する決議

三沢市議会では、3月17日の本会議において、東北地方太平洋沖地震による被害の早期復興を願い、一刻でも早く市民の安心を取り戻すため、最大限の努力を傾注する覚悟から次のとおり決議しました。



↑三沢漁港の被害状況を確認する議員たち

東北地方太平洋沖地震からの復興に関する決議

平成23年3月11日、東北及び関東地方を襲った未曾有の大地震は、我が国に大きな爪痕を残し、各地で様々な混乱が生じている。

この国内観測史上最大といわれる地震と津波の影響により、東北地方では多くの犠牲者が出るとともに、電気、水道、ガスなどのライフラインや、道路、鉄道などの物流機能が甚大な被害を受け、未だに復旧の目途は立っていない。

当市においても、ふたりの尊い命が失われ、家屋の全壊、半壊、床上床下浸水といった被害も発生し、加えて、当市の水産業を支えてきた三沢漁港は、想像を絶する被害を受けその機能は壊滅状態にある。

更に、地震・津波の影響は市民生活や経済活動等のあらゆる部分に及んでおり、その対策は緊急を要するものである。

よって、三沢市議会は、被災された地域の早期の復旧・復興のため、市当局との密接な連携のもと、一刻でも早く市民が安心した生活を取り戻せるよう、全力をあげて活動する。以上、決議する。

中心市街地活性化対策特別委員会

委員長 船見 亮悦

去る2月28日、委員会を開催し、中心市街地活性化基本計画区域内における交通規制について(一方通行解除による誘客促進の可能性)を調査しました。

はじめに市から、規制解除による問題点や今後の方針等の説明のほか、公安当局や県との協議内容について報告があり、三沢警察署の見解としては、交通事故や渋滞防止の観点



→一方通行の解除が検討される中心商店街

から、解除要件として主要交差点への右折レーン設置やアーケード街を含めた道路拡幅が必要とのことでした。これらを踏まえ、市では今後も引き続き、道路管理者の県に対し道路拡幅を強く要請するとともに、道路形態、交差点改良等について、関係部署による横断的な体制により、検討を進めるとのことでした。委員からは、一方通行の全区間を拡幅すべきとの意見や現状のままでも対面交通の実証試験を行ってはどうかとの意見が出されましたが、財源の問題や交通の混乱が予想されることから、当委員会では、公安当局や県に対する要望行動等の可能性も視野に入れ、今後も引き続き、交通規制等を検証し、誘客の方策を探るとともに、中心市街地活性化基本計画を着実に推進のため、調査・研究を行います。

お知らせ

○定例会の開催について
今回の定例会は日程が決まり次第、ホームページに掲載します。

○議会の傍聴について

議会では、市民生活に直結した重要な問題が審議されています。市民の皆様が選んだ議員の活動や市政の動きを知るためにも、議会傍聴にお越しくださいますようお願いいたします。

なお、傍聴席は50席と数に限りがありますので、団体等で傍聴される方は、事前に議会事務局までご連絡をお願いします。

傍聴記録

○平成23年第1回定例会
傍聴者数 延べ51名(前回比18名)

お問合せ

三沢市議会事務局
電話兼FAX: 53-5500
メール: misawa29@net.pref.aomori.jp

2011年4月番組表(4月8日~5月7日)											
	月	火	水	木	金		土	日			
	11.18.25.5/2	12.19.26.5/3	13.20.27.5/4	14.21.28.5/5	8.15.22.29.5/6		9.16.23.30.5/7	10.17.24.5/1			
6	モールオブTV					6	モールオブTV				
7	週刊マック	マックワイド [再]月曜日放送分	マックワイド [再]火曜日放送分	マックワイド [再]水曜日放送分	マックワイド [再]木曜日放送分	7	マックワイド [再]金曜日放送分	週刊マック			
8						8		手話ニュース			
9	手話ニュース	情報宅配便(文字放送)・求人情報・MISAWA Shop インフォ				9		モールオブTV			
10	モールオブTV					10	モールオブTV				
11	サイエンス・チャンネル					11	サイエンス・チャンネル				
12	週刊マック	マックワイド [再]月曜日放送分	マックワイド [再]火曜日放送分	マックワイド [再]水曜日放送分	マックワイド [再]木曜日放送分	12	マックワイド [再]金曜日放送分	週刊マック			
1	手話ニュース	情報宅配便(文字放送)・求人情報・MISAWA Shop インフォ				1		手話ニュース			
2	モールオブTV					2	モールオブTV				
3	モールオブTV					3	モールオブTV				
4	週刊マック	マックワイド [再]月曜日放送分	マックワイド [再]火曜日放送分	マックワイド [再]水曜日放送分	マックワイド [再]木曜日放送分	4	マックワイド [再]金曜日放送分	週刊マック			
5	手話ニュース	情報宅配便(文字放送)・求人情報・MISAWA Shop インフォ				5		手話ニュース			
6	サイエンス・チャンネル					6	サイエンス・チャンネル				
7	マックワイド ▼市内の出来事▼マックコーナー(市民・施設紹介など)▼ごみ収集日程 ▼心の詩▼インフォみさわ▼市内の天気&空席情報▼やさい週間情報					7	週刊マック 月~金曜日放送分の 市内の出来事を一挙放送				
	情報宅配便(文字放送)・求人情報・MISAWA Shop インフォ						手話ニュース				
8	釣りビジョン	サイエンス チャンネル	釣りビジョン	サイエンス チャンネル	釣りビジョン	8	サイエンス チャンネル	サイエンス チャンネル			
9	マックワイド [再]午後7時放送分	マックワイド [再]午後7時放送分	マックワイド [再]午後7時放送分	マックワイド [再]午後7時放送分	マックワイド [再]午後7時放送分	9	週刊マック	週刊マック			
10	情報宅配便(文字放送)・求人情報・MISAWA Shop インフォ					10	週刊マック 手話ニュース				

※マックワイドの切り替えは午後7時です。 ※予告なく番組が変更されることがあります。

デジタル11ch マックチャンネルガイド 2011.APR 4

アナログ 4ch

今月の番組紹介

市内の生活情報番組 マックワイド!!



あそべるんDEみさわ
→三沢遊遊記

◆◆◆ラインアップ◆◆◆

- ★市内の出来事
- ★マックコーナー
市民紹介番組『マックンのスマイル通信』と
施設紹介番組『三沢遊遊記あそべるんDEみさわ』を
隔週放送
- ★ごみ収集日程
- ★心の詩(三沢市連合PTA母親委員会が募集した市内
小中学校生徒の詩を紹介)
- ★インフォみさわ
(市役所からのお知らせ・イベント紹介等)
- ★市内の天気&空席情報
- ★やさい週間情報

地上デジタル放送受信のための支援コーナーを開設しました。

三沢市では、総務省が実施している支援の申請手続きをサポートするため、支援コーナーを開設しました。

支援制度 について	対象世帯	まだ地上デジタル放送に対応できていない「世帯全員が市町村住民税非課税の措置を受けている世帯」及び「NHK放送受信料全額免除世帯」
	お問合せ先	総務省 地デジチューナー支援実施センター (http://www.chidejishien.jp) ・市民税非課税世帯への支援のお問合せ ☎0570-023724 ・NHK放送受信料全額免除世帯への支援のお問合せ ☎0570-033840
相談コーナー について	場所	市役所1階ロビー
	日時	月曜日~金曜日(祝日を除く) 8時15分~12時、13時~16時
	お問い合わせ先	CATV情報課 ☎51-1255 (国際交流教育センター内)

ケーブルインターネット **月額 3,150円**

有線接続コース(4Mサービス)

機器レンタル料 全て込み
プロバイダー料
メール・IP7カック

ケーブルインターネット
「なるほど」 Check Point!!

point 1 電話回線が不要
共同受信を利用するため、電話回線がなくても御利用いただけます。詳細はお問い合わせください。

point 2 距離に影響されない安定した通信速度
通信速度が距離による影響を受けません。CATV局から遠く離れている方でも、安定して御利用いただけます。

point 3 プロバイダー料込みで安心の定額料金
どれだけ利用してもプロバイダー料と機器料を含んだ定額料金なので、月々のお支払いが低料金で安心!

point 4 高品質映像配信サービスやネットゲーム等もご利用になる場合、そのサービスの提供条件によっては、ご利用にならない場合がございます。

有線接続コース 配線イメージ

共同アンテナ

共同アンテナの保安器からインターネット専用線(同軸ケーブル)をお部屋に引き込むだけでOK!

テレビの配線はそのままご利用できます。

LANケーブル

ケーブルモデム

パソコン

お問い合わせ先：三沢市ケーブルテレビジョン TEL51-1255 HPアドレス <http://www.mctvnet.ne.jp>

氷も溶かす日米の友情

国際子どもアイスフェスティバル 3月5日

三沢アイスアリーナにおいて、国際子どもアイスフェスティバルが開催されました。

日米の子どもたちとその家族の交流の場、そして冬季の体力増進を目的として開催されるこのフェスティバルは今回で12回目。防寒具を身にまとい、つるつる滑る氷上にはしゃぐ子どもたちと、カメラを構えて我が子を応援する保護者たち約250名が参加しました。

準備運動の後、8チームに分かれ、氷上ボウリングやゴムそりリレーなど4種目で競い合った子どもたち。最初は氷の上を歩くことさえおそるおそるだった子どもたちも最後には滑りながら歓喜の声をあげていました。



◀共に困難に立ち向かった子どもたちは一日で随分仲良くなったようですよ

生まれる、繋がる、いい関係

ゴニンカントランプ三沢大会 2月27日

市民の森老人福祉センターにおいて、ゴニンカントランプ三沢大会が開催されました。

ゴニンカンとは、東北地方で古くから親しまれ、5人が2組に分かれて、複雑な思考と心理的な駆け引きが要求されるトランプゲームです。

会場には「踊る」「スコク」など専門用語が飛び交い、参加者の手札と場の札を見つめる表情は真剣そのもの！

互いの「関係」が勝負の鍵を握るこのゲーム。これまであまり親しくなかった人同士にも、真剣勝負を通して、新たないい「関係」が生まれたのではないのでしょうか。



◀勝負が決したときの笑い声や笑顔、悔しそうな表情はまるで子供のよう

凧揚げで深める親子の絆

親子凧揚げ会 3月5日

墓地公園において、親子凧揚げ会が開かれました。

一緒に凧作りや凧揚げを行うことで親子の絆を深めたいと、公園緑化公社によって初めて開催されたこの会には、講師に弘前市在住の津軽凧絵師・櫻庭義造氏を招き、14組28名の親子が参加しました。

講師の櫻庭氏は「凧の糸の結び方は、強固でありながらほどきやすく、マジックのようだとされるほど。今回は特に糸の結び方を教えたい」と話し、力を合わせて作業する親子に丁寧に教えてくれて、手作りの凧は見事に完成。この日はあいにくの強風で、凧を飛ばすことはできませんでしたが、後日、大空高く舞い上がったのかな？



◀親子の絆が詰まった和凧。澄み渡る冬の空にあげることができたでしょうか

助けることは誇り

米軍共同募金贈呈式 2月28日

国際交流教育センターにおいて、米軍から三沢市共同募金委員会への募金の贈呈式が行われました。

これは、昭和34年度からほぼ毎年度、米軍三沢基地の軍人や民間人そしてその家族で構成する11の団体が、老若男女を問わず様々な募金活動を行い寄付しているもので、今年度の791,328円を合わせると、これまで約8,100万円もの金額に達します。

ラストイーン司令官は米軍を代表して、「地域と関わりを持ち、助けを必要とする方を助けることは誇りです」と話し、沼田会長に募金を手渡しました。募金贈呈後、各団体に共同募金委員会より記念品が贈呈されました。



◀ケーキを販売するなどアイデアを出し合って募金活動を行ったとのこと

出来事通信

できごと
つうしん

胃がんから教わった大切なこと

日本胃癌学会総会 3月3日～5日

古牧温泉青森屋と公会堂を会場に、第83回日本胃癌学会総会が開催され、国内外から延べ約3500人の医師や医療関係者が集まり、胃がん治療に関わる講演や研究発表が行われました。

4日には会長である坂田三沢病院長が講演を行い、県内における療法・治療薬研究の活動内容を紹介し、今後の新たな抗がん剤の探索に意欲を見せました。

また、期間内は参加者の移動や食事、宿泊などに多くの市内事業者が協力し、スムーズに全日程を終えることができたことに、参加者から市内関係者に感謝の言葉が述べられていました。



▶会長として大役を務めた坂田三沢病院長

◀5日の市民公開講座では、胃がんを克服された写真家の関口照生氏が、胃がんへの戸惑いや恐怖、立ち向かった自らの経験を心情豊かに話し、がんは怖い病気ではないとしながらも検診の有用性と検診の受診を呼びかけました



善意の贈り物、26年目に

花柳秀梢会から寄付 2月24日

花柳秀梢社中代表、花柳秀梢さんと会員の皆さんが種市市長のもとを訪れ、寄付を手渡しました。

秀梢会は、昭和61年から毎年、三沢市に対し寄付しており、今年で26年連続となります。

教育関係に使っていただきたいとの意向から、毎年、秀梢会からの善意は学校図書購入費に使われており、今回の寄付は古間木小学校へ贈られます。

花柳秀梢さんは「私たちが何かお役に立てればと思っています。また来年も来ます」と、種市市長へ善意の約束をしてくださいました。



◀花柳秀梢会の皆さん、毎年、本当にありがとうございます

あなたに食べて欲しかった

「三沢ほっき丼」無料提供 2月22日

市内の飲食店で構成する県料理飲食業生活衛生業組合三沢支部から老人ホームの入居者に「三沢ほっき丼」が無料で振る舞われました。

これは、同支部に所属する飲食店店主たちが「外に出られない人にも三沢名物であるほっき丼を味わってほしい」と考え、営業の合間に集まって準備を進め、老人ホーム入居者122人に昼食として提供したものです。

この日のほっき丼は皆で考えた特別製！同支部長の近藤氏は「材料を細かく切り、卵をからめ、味付けも薄くするなど食べやすく工夫しました。これを食べてまた元気になってください」と話しました。



◀丼をほおばり「おいしい」「また食べたい」と笑顔を輝かせていました

三 お知らせ

固定資産帳簿等の縦覧

平成23年度の固定資産税の対象となる資産（土地・家屋）の価格を確認していただくため、左記のとおり縦覧ができます。

- と き 5月31日(火)まで
8時15分～18時30分
※土日祝日を除く
- ところ 税務課7番窓口
- ▼問合せ 税務課資産税係
(内線166・167)

県税口座振替制度のお知らせ

安心・確実に納税を
青森県では、県税の口座振替の申込みを受け付けています。県税の納付は便利で、安心・確実な口座振替をご利用ください。

	振替日	申込期限
個人事業税	納期限の日	8月中旬
自動車税		4月30日
法人県民税・法人事業税等	申告期限の日	申告期限の日
軽油引取税	申告月25日	

※申告期限までに申告書が提出されなかった場合は口座振替になりませんのでご注意ください。

申込方法

納税者本人の通帳と預金届出印を持参のうえ、取扱金融機関及び各地域県民局県税部の窓口にて備え付けの申込用紙でお申し込みください。

▼問合せ

上北地域県民局県税納税管理課 (☎2218111
内線205)

市民無料相談

- 問：問い合わせ
場：開催場所
- 法律相談 (法テラス青森主催) 6日(水)・20日(水)
問 法テラス青森 (☎050-3383-5552) 5月11日(水)
場 市民相談室 ※要電話予約・先着6名・受付条件あり 13時～16時
 - 法律相談 (社会福祉協議会主催) 12日(火)
問 社会福祉協議会 (☎52-3270) 13時～16時
※要電話予約・先着6名
 - 法律相談 (市主催) 26日(火)
問 広報広聴課 (内345) 13時～16時
場 市民相談室 ※要電話予約・先着6名
 - 人権・行政相談 11日(月)
問 広報広聴課 (内345) 10時～15時
場 市民相談室
 - 仕事の法律相談 22日(金)
問 就職支援センター (☎27-6005) 13時～16時
※要電話予約
 - 仕事の悩み相談 6日(水)・20日(水)
問 就職支援センター (☎27-6005) 13時～16時
※要電話予約
 - 労働条件・年金相談 14日(木)
問 就職支援センター (☎27-6005) 13時～16時
※要電話予約
 - 人権・困り事相談 第2・4木
問 広報広聴課 (内345) 9時30分～15時
場 ふれあいの館
 - 教育相談 毎週月～金
問 国際交流教育センター内教育相談室 (☎53-6060) 8時15分～16時
 - 家庭児童・婦人相談 毎週月～金
問 家庭福祉課 (内381) 9時～16時
 - 育児・子育て支援相談 毎週月～金
問 三沢地域子育て支援センター (☎53-1176) 9時～16時30分
問 みさわファミリーサポートセンター (☎50-1518)
 - 消費者生活相談 毎週月～金
問 県消費生活センター八戸相談室 (☎0178-27-3381) 9時～17時
 - 警察安全相談 随時
問 三沢警察署総務課 (☎53-3145 内217) 電話相談可
 - 犯罪被害者支援相談 毎週月～金
問 青森県地方検察庁被害者ホットライン (☎017-722-1234) 9時～16時30分
 - がん・緩和ケア・医療相談 毎週月～金
問 三沢市立三沢病院地域医療連携室内 (☎51-1375) 9時～16時
 - 介護・福祉相談 毎週火
問 三沢市立三沢病院地域医療連携室内 (☎51-1375) 10時～15時

合併処理浄化槽設置補助金

申請を受け付けます
下水道認可区域及び農業集落排水処理施設整備予定区域以外で、ご自分が住むための住居に設置してある単独処理浄化槽や汲み取り式トイレを合併処理浄化槽に設置替えを行う方に補助金が支給されます。

- 受付期間 7月下旬まで
- 対象件数 先着3件程度
- 補助金限度額
5人槽 35万2千円
7人槽 41万1千円
10人槽 58万8千円
- ▼申込み・問合せ
環境衛生課 (内線279)

屋内温水プール

休館日のお知らせ
館内一斉清掃作業を行いますので、ご利用できません。
と き 4月11日(月)
▼問合せ 屋内温水プール
(☎5913850)

義援金詐欺にご注意ください

東北地方太平洋沖地震に対する義援金詐欺が発生しています。電話や訪問などによる直接的なお願いや口座を指定しての振り込みは一切ありませんのでご注意ください。
▼問合せ 生活安全課
(内線313)

NTT東日本発行の電話帳

配達・回収いたします
4月中に順次、新しい電話帳を各ご家庭・事業所へお届けします。現在お使いの電話帳は、新しい電話帳の配達時に、配達員へお渡しください。
ご不在の場合は、ご連絡いただければ回収に伺います。
▼問合せ
タウンページセンター
(☎01205061309)

来しーみわの2011 vol.2

観光ガイド大好評配布中！
三沢の観光・グルメ・遊びを一冊に凝縮した観光ガイドの11年版が完成しました！盛りだくさんの内容で、三沢を観光に訪れる方ももちろん、市民の皆さんも新しい魅力を発見できるかも！ぜひ一度ご覧ください。
市役所ロビーのほか、街の駅・道の駅など市内観光施設各所で無料配布中です。



▼問合せ

観光物産課 (内線359)
観光協会 (☎5912311)

中小企業者融資制度等説明会

お気軽にご相談ください
青森県、三沢市、(財)21あおり産業総合支援センター、日本政策金融公庫による融資や経営相談などの説明会を開催します。
と き 4月22日(金)10時～
ところ 商工会館
▼問合せ 県商工政策課
(☎0177221111
内線3623)

緑の募金にご協力を

緑あふれるふるさとのために皆様から寄せられたご厚意は、豊かな自然を広げる活動に活用されます。緑あふれるふるさとを創っていくためにご協力をお願いします。
期間 5月31日(火)まで
※個人の場合は街頭(4月29日)、団体は職場・学校等でお願います。
▼申込み・問合せ
三沢市公園緑化公社
(☎5112820)

平成23年度国家公務員試験

国税専門官採用試験のお知らせ
仙台国税局では、税務のスペシャリストとして活躍するバイタリティーあふれる税務職員を募集しています。
仙台国税局に採用されると、税務大学校で研修を受けた後、管内(東北6県)の税務署に配属されます。
受験資格
・昭和57年4月2日～平成24年4月1日生まれの方
・平成24年4月2日以降生まれの方で次に該当する方
①大学を卒業した方及び平成24年3月までに大学を卒業する見込みの方
②人事院が①と同等の資格があると認める方
▼申込期限 4月14日(木)まで
▼問合せ・申込書請求
人事院東北事務局
(☎02222212022)
仙台国税局人事第二課
(☎0364594661)

3階第1会議室

館長&ライブラリアントーク①
これまでの館長トークに図書スタッフが加わります！
テーマ 本屋大賞をめぐる
と き 4月16日(土)13時30分～
ところ 3階第1会議室
製本講座
本の修理や製本を学びます。年9回を予定しています。興味のある方は、ご自由にご参加ください。
と き 4月16日(土)15時～
ところ 3階第1会議室
▼申込み・問合せ 図書館
(☎5316040)

航空科学館イベント情報

ピカチユウのキラキラ大搜索
ポケモンたちだけで繰り広げられるキラキラ探し！大都会で大冒険するポケモンたちの映像を大スクリーンで楽しみましょう！
期間 5月8日(日)まで
①10時～②10時45分～③11時30分～④13時～⑤13時45分～⑥14時30分～⑦15時15分～
(平日は①③④⑥のみ)
ところ AVホール
参加料 大人 300円
小中学生 100円
(未就学生は無料)
※期間は変更になる場合があります
▼問合せ 県立三沢航空科学館 (☎5017777)

講座・教室

普通救命講習会
いざというときのために
と き 4月24日(日) 9時～12時
ところ 消防本部2階講堂
定員 30名(先着順)
内容 8名以下の場合中止
成人の心肺蘇生法やAEDの使用法、異物除去法など
受講料 200円
▼申込み・問合せ
消防署救急係
(☎5414212内線218)

大極拳教室

市民ひとり一芸一スポーツ！
一般の方を対象に大極拳の基本を学びます。
と き 5月7日～28日の各日
9時30分から11時30分
ところ 武道館剣道場
参加料 1000円
定員 25名(先着順)
対象者 小学校高学年以上
持ち物 室内シューズ、タオル、運動しやすい服装
申込期間 4月6日(火)13時～
▼申込み・問合せ
武道館 (☎5710050)

廃棄物不法投棄監視員の募集

募集人数	1名
職務内容	・不法投棄の防止、投棄箇所発見のため 市内巡視 ・不法投棄防止のための啓発活動 ・不法投棄者発見時の通報・連絡
身分及び報酬	非常勤の特別職（週1日・8時間） 日額報酬6000円
任用期間	5月9日～平成24年3月31日
資格	・市内在住の20歳以上65歳以下の健康な方（平成23年4月1日現在） ・普通自動車免許を取得している方 ・地方公務員法第16条に規定する欠格事項に該当しない方 ・定期的に業務の遂行ができる方
申込受付期間	4月18日（月）
提出書類	履歴書（市販されているもの）、住民票
選考日	4月22日（金）
選考場所・方法	清掃センターにおいて面接選考
採用発表	4月28日（木） ※本人に直接通知します

★申込み・問合せ先

清掃センター（☎59-3331）
〒033-0022三沢市大字三沢戸崎101-1016

教育・福祉・環境助成金募集のお知らせ

財団法人みちのく・ふるさと貢献基金では県内の地域貢献を目的に個人、団体、NPO法人、企業等に助成金の交付を行っています。ふるさとのために活動されている皆さん、ぜひお申し込みください。

助成金額	必要費用以内で、かつ100万円を限度
対象者・団体	1年以上の継続的・組織的活動実績のある個人、団体、NPO法人、企業等
応募資格等	①青森県の自然、地域、生活文化、歴史などの地域資源を活用・創造する活動や、健康増進、医療、福祉、環境に関する活動であること ②10月1日～平成24年9月30日までに実施する活動 ③助成金給付後、活動・研究報告書を提出すること
応募方法	財団ホームページから申請書をダウンロードし、必要事項を記入して送付
応募期間	6月30日（木）まで

★申込み・問合せ先（財）みちのく・ふるさと貢献基金事務局 奈良・川村（☎017-774-1179）
〒030-8622青森市勝田1-3-1 <http://www.michinoku-furusato.or.jp>

広告

みさわ花と緑の会 からのお知らせ

ミニダリアの球根を提供します

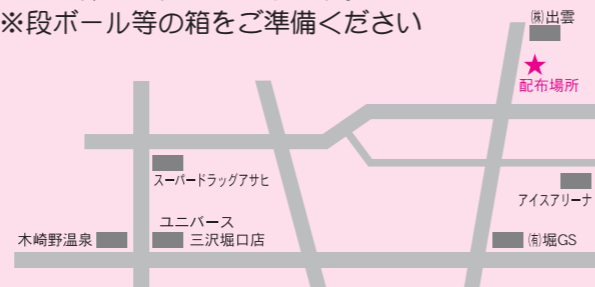
市内で花壇に花植え活動をしている団体に、ミニダリアの球根を無料で配布します。

日時 4月16日（土）9:00～10:00

場所 南山地内

※1団体50個までとします。

※段ボール等の箱をご準備ください



一緒に花植えませんか？

「みさわ花と緑の会」では、花苗の育成、配布など三沢市の環境美化をめざし、ボランティア活動を行っています。

花植えに興味のある方、会員になって活動してみませんか？

★申込み・問合せ先 みさわ花と緑の会事務局
齋藤（☎54-4652）

これまでの三沢市における授与団体

年度	団体名	団活動名
H19	NPO法人 自立支援センター ファイフティ	プロの認知症介護 スタッフ養成講座
H21	岡三沢神楽保存会	伝承活動

三 募 集

ハーモニカ愛好会

一緒に演奏を楽しもう！
文化祭での演奏を目指して腕をみがきましょう！未経験者でも大丈夫ですよ。

とき 第2・4（火） 18時～20時

ところ 公会堂

▼申込み・問合せ
ハーモニカ愛好会 阿部
（☎57-3803）

友情のつどい

レクリエーションで深める友情

とき 5月14日（土）・15日（日）
ところ 小川原湖青年の家、
県立三沢航空科学館

対象 小学生

定員 50名（先着順）

参加料 2000円

申込締切 5月5日（水）

申込方法 電話またはFAX

▼申込み・問合せ
公立小川原湖青年の家
（☎56-12393）
FAX 5615042

三沢市少年少女発明クラブ

ロボット製作指導員募集！

活動場所の航空科学館に通勤可能で、意欲的に指導する意志のある方
（高校生は保護者承諾が必要）

活動日 月2回程度、日の9時30分～12時30分

▼申込み・問合せ
生涯学習課（内線379）

楽しい早朝ウォーキング教室

朝の運動で心も体も健康に

とき 5月11日～9月30日の毎週（水）（金）の6時～7時

ところ 公会堂から約4kmの市内周回コース

参加料 3000円（保険料等）

対象 市内在住の方

定員 40名程度

申込締切 4月20日（水）

▼申込み・問合せ
市民スポーツ課（内線372）

広告

子宮頸がん等予防ワクチン 接種事業開始の延期について

市では、4月1日から平成24年3月31日まで、子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌（7価）ワクチンの費用全額助成による予防接種を実施する予定でしたが、以下の通知を受け、厚生労働省から接種を再開する旨の通知があるまでの間、接種事業の開始を延期することにいたしました。

ヒブワクチン及び**小児用肺炎球菌ワクチン**については、ワクチン接種との因果関係は不明であるものの、接種後の死亡例が全国で発生したことから、厚生労働省より「因果関係の評価を実施するまでの間、念のため、接種を一時的に見合わせる」との通知がありました。

また、**子宮頸がん予防ワクチン**については、現在、**全国的な公的接種費用助成の開始によって品薄状態となっており**、国から当分の間、新規の接種を見合わせるように通知がありました。

予防接種 ワクチン	状 況	公費 助成	自費 接種
子宮頸がん 予防ワクチン	ワクチンの品薄状態	延期	新規 不可
ヒブワクチン	接種後の死亡例が発生したため一時的に 接種見合わせ	延期	不可
小児用肺炎球菌 ワクチン		延期	不可

今後、接種可能な状態になりましたら、広報みさわ・マックテレビ・ホームページでお知らせするほか、対象者の皆様には個別にご連絡させていただきますので、お待ちくださいますようお願いいたします。



問合せ…保健相談センター ☎57-0707

4月の保健だより

＋ 休日救急診療 ＋

4月3日	すずき小児科内科クリニック	52-6555
4月10日	こおり耳鼻科クリニック	53-3387
4月17日	みさわクリニック	53-3739
4月24日	得居泌尿器科医院	50-1333
4月29日	鳴海外科医院	53-3056
5月1日	さんあい眼科クリニック	53-8721
5月3日	こおり耳鼻科クリニック	53-3387
5月4日	平山泰照皮膚科医院	53-1255
5月5日	中山内科医院	52-7752
5月8日	米田内科小児科医院	53-8233

※17時以降の夜間救急診療は当番制ではありません。

健康診査・保健相談

内容・対象	月 日	時 間	場 所
妊婦歯科検診	4月19日(火)	受付 13:15~13:30	保健相談 センター
*母子手帳を持参してください。			
4カ月児健康診査	4月19日(火)	受付 12:45~13:15	
*希望の保護者は歯科健診を受けることができます。 *ブックスタート(絵本の読み聞かせやプレゼント)があります。			
6~7カ月児健康相談	4月19日(火)	受付 9:30~10:00	
9~10カ月児健康相談	4月27日(水)	受付 9:30~10:00	
1歳6カ月児健康診査 (平成21年8月生まれの幼児)	4月28日(木)	受付 12:45~13:15	
2歳児歯科健康診査 (平成20年11月生まれの幼児)	4月27日(水)	受付 12:45~13:15	
3歳児健康診査 (平成19年9月生まれの幼児)	4月20日(水)	受付 12:30~13:00	
▼乳幼児健診では、母子健康手帳・バスタオル等を持参してください。 1歳6カ月児・2歳児・3歳児健康診査では診査票等を忘れずに。 体調不良や感染症等の時は受診をご遠慮ください。			
栄養相談	随時受付(予約制)		上十三 保健所 (十和田市)
一般健康相談	毎週月・木曜日	9:00~16:00	
女性健康相談	4月19日(火)	受付 10:00~10:30	
精神保健福祉相談	4月20日(水)	受付 13:00~14:00	
*問合せ: 上十三保健所 ☎23-4261			

献血の お知らせ

病气やケガなどで輸血を必要としている方の生命を救うため、献血のお願いをしています。

日 時	場 所
4月1日(金) 10:00~11:45 13:00~16:00	ホーマック三沢店
5月8日(日) 10:00~12:00 13:00~16:00	M G プラザ (三沢基地ゲート前)

問合せ…保健相談センター ☎57-0707

陽気に誘われて…春のイベント情報♪

みさわ桜まつり

期 間 4月中旬~5月8日(日)
場 所 中央公園
※夜桜を鑑賞していただくためのライトアップは、震災による節電のため中止します。
詳しくはお問い合わせください。
★問合せ先 (社)三沢市観光協会 ☎59-2311)

チャレンジ市民ひとり芸スポーツ

桜と温泉まつり

春風が吹き、桜咲く季節。花を眺めながら植木市や出店、カラオケ大会で盛り上がりましょう!
日 時 4月30日(土)・5月1日(日)10時~17時
場 所 市民の森温泉浴場
※温泉玉子とおしるこを無料配布します。
★申込み・問合せ先 市民の森老人福祉センター
(☎59-2246)

寺山修司記念館フェスティバル2011/春

今年も23日、24日は無料開放DAY!
日 時 4月23日(土)~5月5日(木祝)
場 所 寺山修司記念館、屋外多目的スペースほか

4/23・24	寺山修司遊びの劇場のムシムシコロコロシリーズが再登場!
5/4	修司忌、岡三沢神楽公演、短歌朗読、写真家の森山大道氏による講演会、渚ようこコンサートなど

※『テラシュー』『家出のするめ』の売上の一部は、東日本震災義援金にさせていただきます。
★問合せ先 寺山修司記念館 ☎59-3434

市民の森 さくらまつり

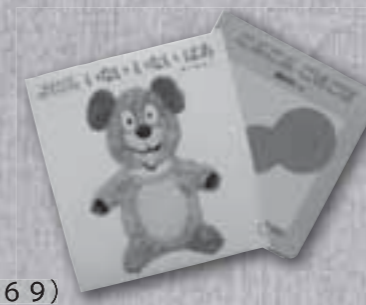
鯉のぼりが泳いでいるそばで、お花見をしながら遊んでみませんか?
日 時 5月1日(日)10時~15時
場 所 市民の森総合運動場多目的広場
※鯉のぼりは4月中旬から5月上旬まであげる予定です。
★問合せ先 NPO法人マン・パワー ☎57-2322

赤ちゃんに絵本をプレゼント

~おうちで赤ちゃんに絵本を楽しみましょう~

4カ月児健診で行っている赤ちゃんへの絵本の読み聞かせ(ブックスタート)に絵本プレゼントが加わります。
親子で絵本を開き、楽しく触れ合う時間もプレゼント♪

対 象 4月19日(火)の4カ月児健診対象の乳幼児から
内 容 市の4カ月検診時に絵本を1冊選んでいただきます。



★問合せ先 生涯学習課 (内線369)

ワンポイント消防

目指そう!設置率100%

消防法の改正により、三沢市では、平成20年6月から市の条例で住宅用火災警報器の設置を義務化していますが、平成23年6月より全国的に設置が完全義務化となります。平成22年12月時点での三沢市における設置率は約70%と全国的に見ても高い数値ではありますが、消防本部では更なる設置率の向上に努めています。

まだ住宅用火災警報器の設置が済んでいないご家庭は、重要性を十分理解して、早急に設置するよう心がけましょう。

住宅用火災警報器について、ご不明な点がありましたら消防本部予防課まで☎54-4279

被災に伴い、住宅や家財、その他の財産について、おおむね2分の1以上の損害を受けられた場合は、ご本人からの申請に基づき、国民年金保険料が全額免除になります。
詳しくは、お問い合わせください。
▼問合せ 国保年金課 (内線245)

連載 答えします!

Q 国民年金 question and answer A

Q 平成23年度の国民年金保険料はいくらになりますか?
A 平成23年4月から平成24年3月までの国民年金保険料は、月々15,020円となります。
◆保険料の前納は、例えば、現金で1年分をまとめてお支払いいただく「3,220円」、6カ月分の場合は「730円」の割引となります。
その他、現金での前納よりお得な口座振替もあります。
▼詳しくは、八戸年金事務所 ☎0178-437368
▼日本年金機構のホームページもご覧ください。
http://www.nenkin.go.jp/

東北地方太平洋沖地震によって被害を受けた方へ

健康チェック、忘れていませんか？

妊婦健診を受診しましょう

妊娠がわかったら、母体と赤ちゃんの健康のため、医療機関での妊婦健康診査を受診しましょう。市内にお住まいであれば、妊婦健診14回分の費用については市からの助成があります。
(※健診の時期や回数、内容は妊婦さんの状況によって変わる場合があります)

ウィルス感染の検査が追加されました

HTLV-1抗体検査

感染するとALT(ヒトT細胞を白血病)を発病させる恐れがあり、母体から授乳によって感染する恐れがあるため、血液検査を行います。

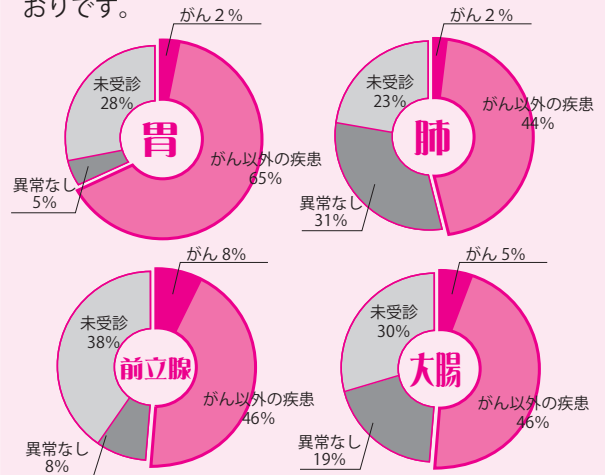
性器クラミジア検査

クラミジア・トラコマチスという病原体に感染していると破水や早産の原因になります。また、赤ちゃんが感染すると結膜炎や肺炎になったりすることがあります。

妊娠中は経過に伴って心と身体が変化します。医師や助産師、保健師へ相談し、その時々々の生活状況に応じたアドバイスを受けることで、出産・育児の準備を上手に進めていきましょう。

要精検の方は早めに受診を

平成22年度市民がん検診で要精検(病院での詳しい検査が必要)と判定された方の結果内訳は次のとおりです。



がん検診で要精検と判定されていても「忙しいから」「去年も検査して異常が無かったから」と詳しい検査を受けない方が多いようです。しかし、がんまたはがん以外の疾患と診断される方も決して少なくありません。

がんは早期発見・早期治療が大切です。要精検と判定されたら早めに病院で受診しましょう。

年に1度は検診を受けましょう ～各種検診の日程(集団検診)

- *各種がん検診は選択して受けることができます。
- *年齢は全て年度末(平成24年3月31日)を基準にしています。
- *下表の検診は、生活保護世帯、非課税世帯、75歳以上の方は無料で受診できます。
- *検診会場は保健相談センターです。
(市民がん検診の8月31日・9月1日は新森地区コミュニティセンターで行います)

検診項目	対象者	料金	実施時期	募集
胃がん検診	40歳以上	1,600円	市民がん検診と称し同日実施	5月17日～ ※詳細は5月に町内回覧
大腸がん検診		500円	6月28日～7月2日	
肺がん検診		400円 (喀痰検査800円)	8月1日～5日 8月28日～9月1日	
肝炎ウイルス検診		600円	11月6日～8日	
歯周病検診		無料	11月30日～12月2日 ※保険の種類により特定健診も同日に受診できます	
前立腺がん検診	50歳以上の男性	500円		
子宮がん検診	20歳以上の偶数年齢	1,700円	婦人科検診として同日実施 9月20日～22日	※詳細は個別通知でお知らせ
卵巣がん検診				
乳がん検診	40歳～58歳の偶数年齢	1,300円	10月3日～5日、 12日～14日、24日～25日	
	60歳以上の偶数年齢	900円	11月1日～2日、18日～19日	
骨粗しょう症検診	40,45,50,55, 60,65,70歳の女性	600円	7月4日、8月4日、29日 11月6日	

★問合せ 健康推進課(☎57-0707)

広報みさわに対するご意見やご感想、取り上げて欲しい行事や話題など、皆様からの情報をお待ちしています。ご連絡は広報広聴課まで。

人口と世帯数 — 2月末現在 — ※()内は前月との増減比較

■人口 42,428人(+38人)・男 20,926人(+18人)・女 21,502人(+20人) ■世帯数 18,571世帯(+25)